

神奈川県湘南東地域  
循環型社会形成推進地域計画  
(第二次計画)

藤 沢 市  
茅ヶ崎 市  
寒 川 町

平成23年10月31日

(平成26年3月27日変更)

(平成27年3月変更)

(平成27年12月8日変更)

(平成28年9月2日変更)



# 目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	3
(1)	一般廃棄物等の処理の現状	3
(2)	生活排水の処理の現状	4
(3)	一般廃棄物等の処理の目標	5
(4)	生活排水処理の目標	7
3	施策の内容	11
(1)	発生抑制・再使用の推進	11
(2)	処理体制	21
(3)	処理施設等の整備	25
(4)	施設整備に関する計画支援事業	27
(5)	その他の施策	29
4	計画のフォローアップと事後評価	32
(1)	計画のフォローアップ	32
(2)	事後評価及び計画の見直し	32
[添付書類]		
様式 1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	33
様式 2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	39
様式 3	地域の循環型社会形成推進のための施策一覧	40
参考様式		41
別添資料		55



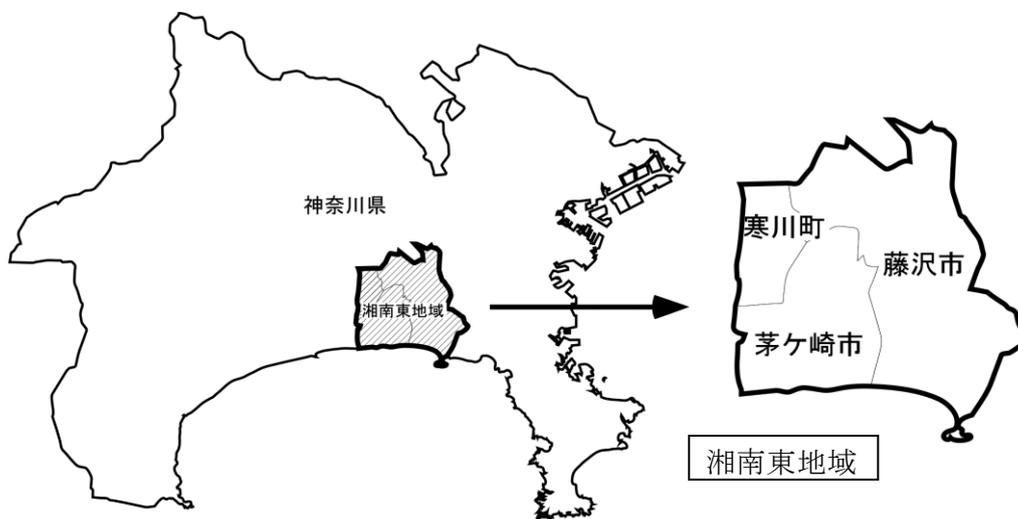
# 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

## (1) 対象地域

構成市町村名 藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町  
面積 118.69 km<sup>2</sup>  
人口 69万7千人（神奈川県人口統計調査結果「神奈川県の人口と世帯」平成23年9月1日現在）

(内 訳)

市町村名	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	合計
面積 (km <sup>2</sup> )	69.51	35.76	13.42	118.69
人口 (人)	413,685	235,580	47,552	696,817



## (2) 計画期間

本計画は、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間を計画期間とし、計画目標年度を平成29年度とする。

(平成29年度以降も引き続き施設整備事業を行うため、本計画を第2次計画とし、平成29年度～33年度の5年間を計画期間とする第3次計画を策定する予定である。)

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

## (3) 基本的な方向

藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町で構成される湘南東地域は、県都横浜市から約30km圏に、首都東京都心からは約50km圏に位置し、気候も四季を通じて温暖である。

藤沢市は、南は相模湾に面し、北は相模原台地の緩やかな丘陵が続く気候温暖な自然環

境に恵まれたまちである。内陸部には優れた工業団地が形成されているほか、大学の立地が多い。

茅ヶ崎市は、明治から昭和初期にかけては湘南の別荘地、保養地として発展、近年は急激な都市化が進んでいる。

寒川町は、相模川沿岸を中心とする工場の進出、宅地開発が進んでいる。

湘南東地域の人口は、約697千人（平成23年9月1日現在）であり、最近の10年間では2市1町すべて増加傾向を示している。

湘南東地域は、以下の方針で循環型社会形成を目指す。

①湘南東地域は、発生抑制、排出抑制に努め、ごみ排出量の削減を図るとともに、ごみの分別方法を統一し、リサイクルセンターを整備し、資源回収に努める。

第1次地域計画に基づくリサイクルセンターの整備が進んでいる。

- ・(仮称)藤沢市リサイクルセンター 132 t/日
- ・寒川広域リサイクルセンター 55.5t/日

(湘南東地域内の施設整備図は、別添図-1を参照。)

②可燃ごみの処理は、現在藤沢市内の2焼却施設（合計処理能力：690 t/24h）、茅ヶ崎市内の1施設（処理能力：360 t/24h）にて行っており、適正な処理能力や、収集運搬の効率等の観点から、今後も3拠点での処理体制で行うものとする。

なお、将来予定される3施設の大規模改修時や更新時には、可燃ごみ量が減量化されている状況が予測され、行政区域を越えた2市1町全体の焼却対象ごみ量を処理できる改修規模や更新規模を勘案し、広域全体で効率的な処理ができることをめざす。

不燃及び粗大ごみ処理については、藤沢市は、(仮称)藤沢市リサイクルセンターにおいて処理し、茅ヶ崎市及び寒川町は現行処理を継続するが、茅ヶ崎市環境事業センターの旧焼却施設の解体に併せ不燃ごみ・粗大ごみからの資源回収施設の整備を検討、破碎・選別による資源物選別を推進し、極力最終処分量の軽減を図るものとする。

焼却施設から排出される焼却灰等の残渣は民間委託による熔融スラグ化等、資源としての有効利用を促進することにより最終処分量を極力削減し、藤沢市の1最終処分場及び茅ヶ崎市の1最終処分場の長期利用を図るものとする。

注) 分別名称については、可燃ごみ・不燃ごみ（藤沢市、寒川町）、燃やせるごみ・燃やせないごみ（茅ヶ崎市）、大型ごみ（藤沢市、茅ヶ崎市）、粗大ごみ（寒川町）などと異なっている。湘南東地域の記載は基本的に「可燃ごみ、不燃ごみ、大型ごみ」を使用する。

③2市1町内を流れる各河川の中には、水質の改善が認められない河川もあることから、神奈川県生活排水処理施設整備構想に基づき、公共下水道あるいは合併処理浄化槽の普及・整備を図り、生活排水処理率の向上に努める。

(合併処理浄化槽整備計画図は、別添図-2及び別添図-3を参照。)

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

湘南東地域の平成22年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図-1のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、221,872トンであり、再生利用される「総資源化量」は62,670トン、リサイクル率は、28.2%である。

中間処理による減量化量は147,876トンであり、直接資源化量及び集団回収を除いた排出量の74.5%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約6%に当たる11,326トンが最終処分されている。

中間処理量のうち、焼却量は173,854トンである。各焼却施設では、余熱利用を行っており、湘南東地域の平成22年度発電量は、41,765,220KWHである。

藤沢市石名坂環境事業所では発電（平成22年度実績：5,278,500KWH）の場内利用を行っており、場外では温水プールへ熱供給している。

また、同市北部環境事業所では発電（平成22年度実績：21,531,940KWH）の場内利用のほか、し尿処理施設、桐原環境事業所、資源化施設へ給電し、余剰電力を売電（平成22年度実績：11,792,760KWH）している。

茅ヶ崎市環境事業センターでは、発電（平成22年度実績：14,954,780KWH）を行い、場内利用のほか余剰電力を売電（平成22年度実績：6,294,024KWH）している。

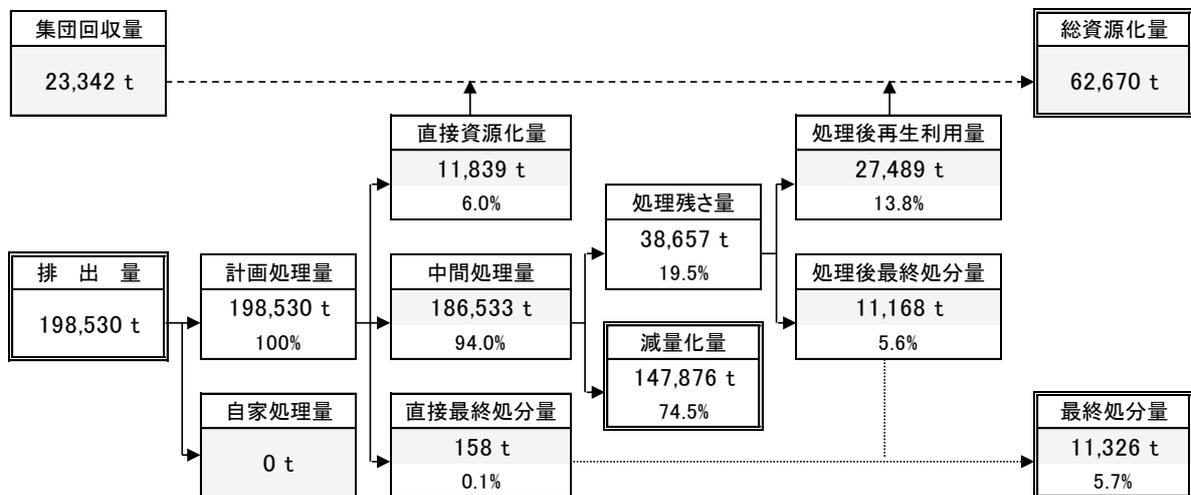


図-1 一般廃棄物の処理状況フロー（平成22年度）

## (2) 生活排水の処理の現状

湘南東地域の平成22年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図-2のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で692,303人であり、水洗化人口は、687,870人、汚水衛生処理率93.3%である。

し尿発生量は7,228k1/年、浄化槽汚泥発生量は、22,370k1/年であり、処理・処分量は29,598k1/年である。

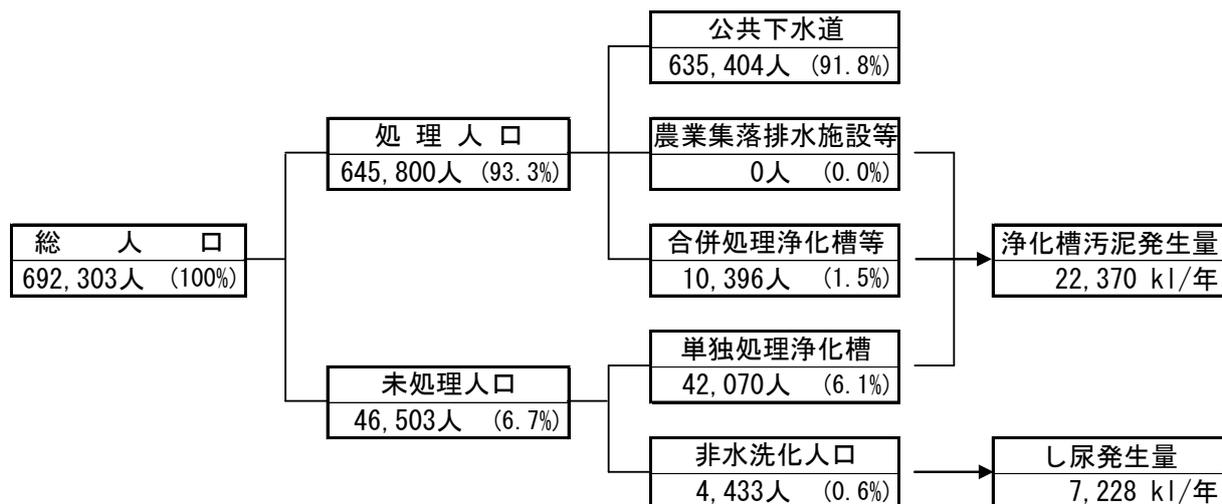


図-2 湘南東地域生活排水の処理状況フロー（平成22年度）

注）生活排水処理人口は下水道人口について年度末推計人口を計上している自治体がある。

### (3) 一般廃棄物等の処理の目標

湘南東地域は、本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、表-1に示す目標を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。目標年のフローは図-3のとおりである。

表-1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現状(割合*1) (平成22年度)		目標(割合*1) (平成29年度)	
排出量	事業系 総排出量	44,665	トン	41,044	トン -8.1%
	1事業所当たりの排出量*2	2.2	トン/事業所	2.0	トン/事業所 -9.1%
	家庭系 総排出量	153,865	トン	155,003	トン 0.74%
	1人当たりの排出量*3	189	kg/人	173.0	kg/人 -8.5%
	合 計 事業系家庭系排出量合計	198,530	トン	196,047	トン -1.25%
再生利用量	直接資源化量	11,839	トン (6.0%)	15,036	トン (7.7%)
	総資源化量	62,670	トン (28.2%)	70,809	トン (32.0%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	41,765	MWh	31,699	MWh
減量化量	中間処理による減量化量	147,876	トン (74.5%)	140,427	トン (71.6%)
最終処分量	埋立最終処分量	11,326	トン (5.7%)	9,787	トン (5.0%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合。ただし、総資源化量については、リサイクル率で示す。

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)  
平成29年度 事業所数 (20,084事業所) = 藤沢市 (12,203事業所) + 茅ヶ崎市 (6,006事業所)  
+ 寒川町 (1,875事業所)

平成13年度から平成18年度の事業所数の減少割合で平成23年度を求め、平成23年度以降は変動なしとし、同数とした。

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

#### 《指標の定義》

排出量 : 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量 (集団回収されたごみを除く) [単位: トン]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位: トン]

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位: MWh]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量 [単位: トン]

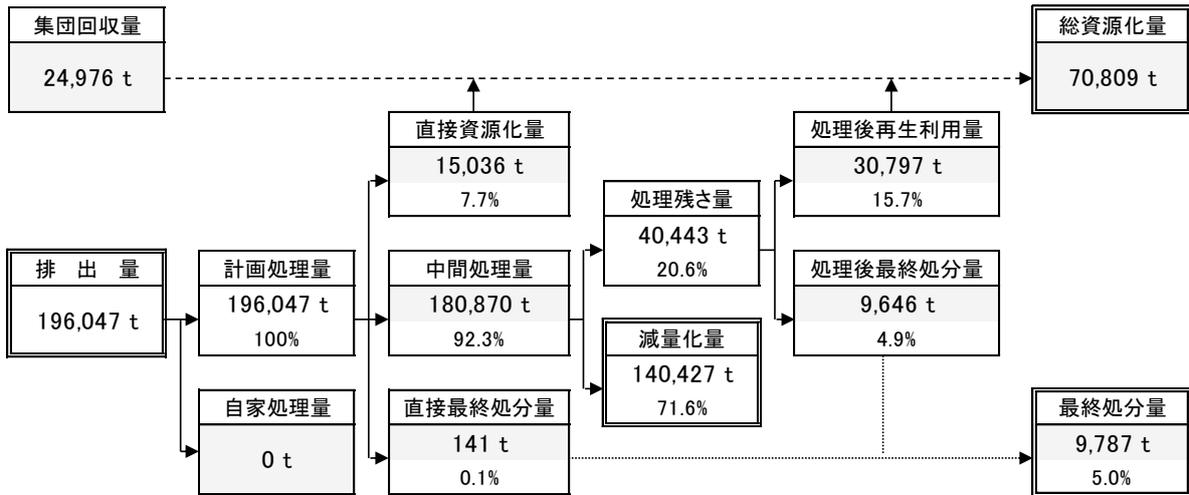


図-3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（平成29年度）

(4) 生活排水処理の目標

ア. 湘南東地域

湘南東地域では、生活排水処理については、表-2に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

目標年のフローは図-4のとおりである。

表-2 生活排水処理に関する現状と目標

		平成22年度実績	平成29年度目標
処理形態別人口	公共下水道	635,404人 (91.8%)	663,392人 (94.1%)
	合併処理浄化槽等	10,396人 (1.5%)	13,325人 (1.9%)
	単独処理浄化槽等	42,070人 (6.1%)	25,414人 (3.6%)
	非水洗化	4,433人 (0.6%)	2,540人 (0.4%)
	合計	692,303人	704,671人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	7,228キリットル	3,781キリットル
	浄化槽汚泥量	22,370キリットル	19,844キリットル
	合計	29,598キリットル	23,625キリットル

注) 平成22年度の公共下水道人口は年度末推定人口を計上している自治体がある。

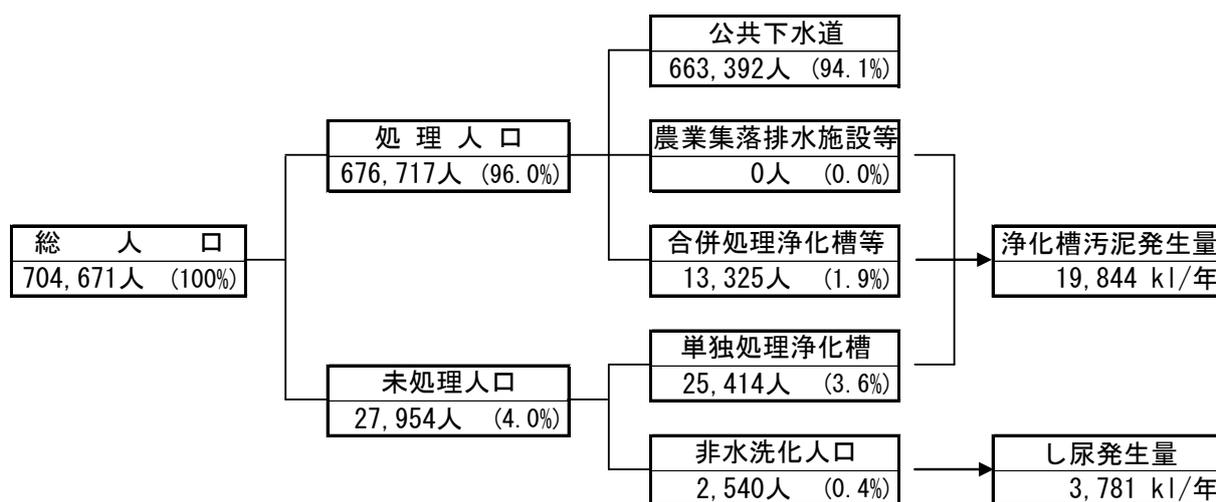


図-4 湘南東地域生活排水の処理状況フロー (平成29年度)

イ. 藤沢市

藤沢市は、表-3に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。目標年のフローは図-5のとおりである。

表-3 生活排水処理に関する現状と目標

		平成22年度実績	平成29年度目標
処理形態別人口	公共下水道	378,165 人 (92.3%)	395,044 人 (94.9%)
	合併処理浄化槽等	3,036 人 (0.7%)	3,602 人 (0.9%)
	単独処理浄化槽等	26,331 人 (6.4%)	16,474 人 (4.0%)
	非水洗化	2,202 人 (0.5%)	1,346 人 (0.3%)
合 計		409,734 人	416,466 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,937 キロリットル	2,157 キロリットル
	浄化槽汚泥量	11,902 キロリットル	7,621 キロリットル
	合 計	15,839 キロリットル	9,778 キロリットル

注) 端数処理の関係で合計は、100%になりません。

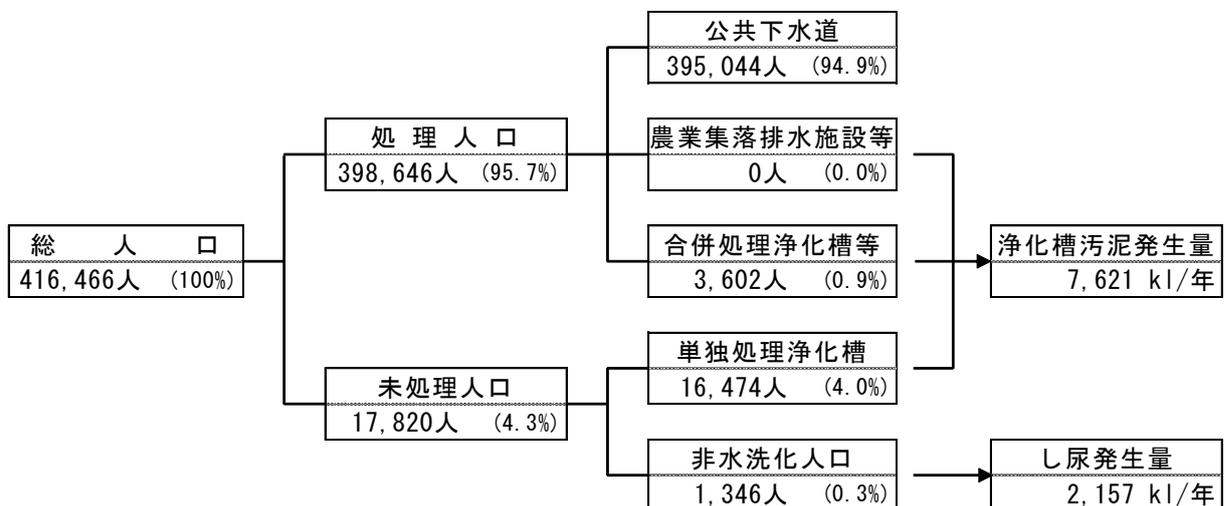


図-5 藤沢市の処理状況フロー (平成29年度)

## ウ. 茅ヶ崎市

茅ヶ崎市は、表-4に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

目標年のフローは図-6のとおりである。

表-4 生活排水処理に関する現状と目標

		平成22年度実績	平成29年度目標
処理形態別人口	公共下水道	216,287人 (92.0%)	222,727人 (92.8%)
	合併処理浄化槽等	4,547人 (1.9%)	8,370人 (3.5%)
	単独処理浄化槽等	12,726人 (5.4%)	8,036人 (3.3%)
	非水洗化	1,580人 (0.7%)	999人 (0.4%)
	合計	235,140人	240,132人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,418キロリットル	1,423キロリットル
	浄化槽汚泥量	8,459キロリットル	11,289キロリットル
	合計	10,877キロリットル	12,712キロリットル

注) 平成22年度の公共下水道人口は年度末推定人口

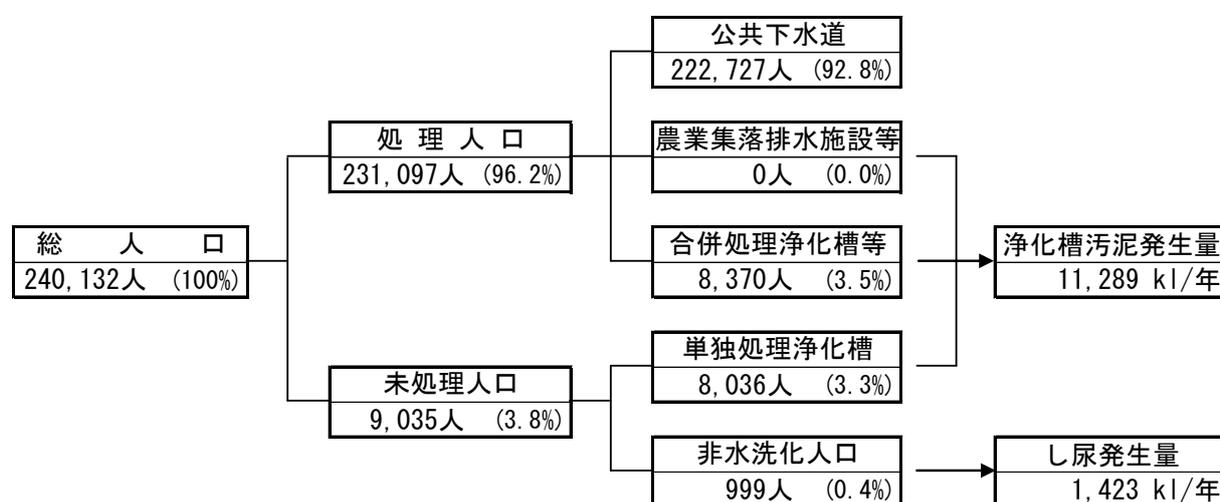


図-6 茅ヶ崎市の処理状況フロー（平成29年度）

## エ. 寒川町

寒川町は、表-5に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

目標年のフローは図-7のとおりである。

表-5 生活排水処理に関する現状と目標

		平成22年度実績	平成29年度目標
処理形態別人口	公共下水道	40,952人 (86.3%)	45,621人 (94.9%)
	合併処理浄化槽等	2,813人 (5.9%)	1,353人 (2.8%)
	単独処理浄化槽等	3,013人 (6.4%)	904人 (1.9%)
	非水洗化	651人 (1.4%)	195人 (0.4%)
	合計	47,429人	48,073人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	873 キロリットル	201 キロリットル
	浄化槽汚泥量	2,009 キロリットル	934 キロリットル
	合計	2,882 キロリットル	1,135 キロリットル

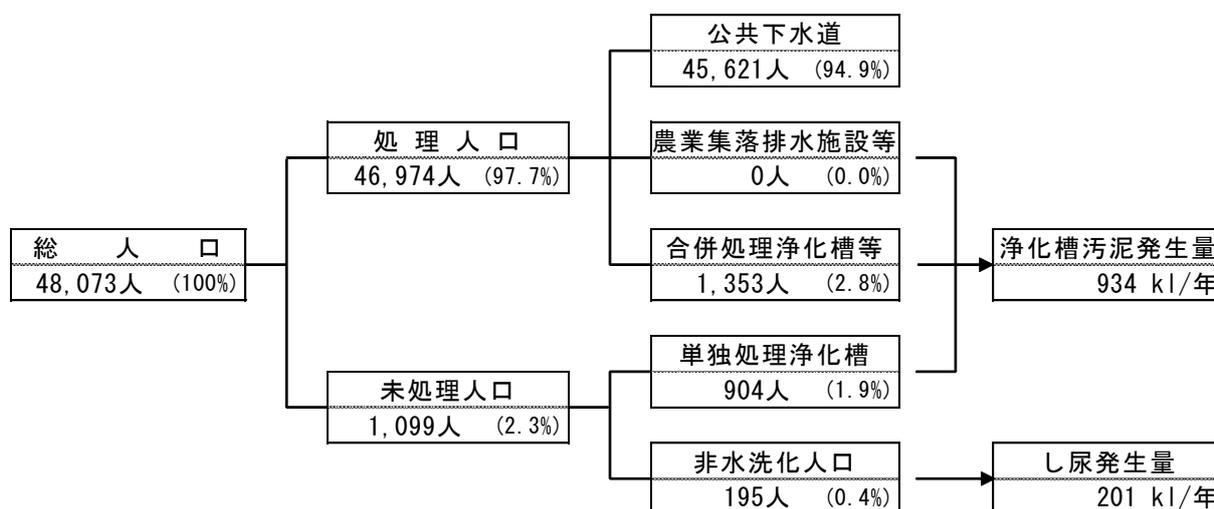


図-7 寒川町の処理状況フロー（平成29年度）

### 3 施策の内容

#### (1) 発生抑制・再使用の推進

##### ア. 有料化

湘南東地域は、家庭系ごみの内、大型ごみについては、コール制により有料で収集しており、事業系一般廃棄物の施設への搬入については、手数料を徴収している。

湘南東地域における取組みは、以下のとおりである。

##### ①藤沢市

藤沢市は、平成19年10月に、排出抑制と費用負担の公平性確保のため、家庭系ごみ(可燃ごみ、不燃ごみ)及び事業系ごみ(小規模事業者のみ、袋の数に制限有り)についても指定袋制の単純従量制により有料化を実施した。

この有料化により、平成20年度の家庭系のごみ排出量は平成18年度に比べて、約15,700 t(約13%)の削減となった。

有料化に先だち平成19年4月から戸別収集を実施した。平成24年度からは、全市域で資源の品目別戸別収集を実施する予定である。

また、有料化に併せ、事業系一般廃棄物の施設への搬入手数料についても料金改定を実施した。

##### ②茅ヶ崎市

茅ヶ崎市は、事業系一般廃棄物の施設への搬入手数料については、平成20年度に料金改定を実施した。

家庭系ごみの有料化については、総合計画に検討を位置づけ、継続的な検討を行っている。現在、茅ヶ崎市の一般廃棄物処理基本計画の改定作業(平成23年度及び24年度の2ヵ年)を進めている中で調査・研究を行っていく予定である。

##### ③寒川町

寒川町では、昭和56年度から有料指定袋による可燃ごみの収集を実施し、プラスチック類については平成17年度より指定収集袋による有料化を実施している。

ごみの排出抑制、ごみ処理における発生者負担の原則の継続とごみの減量化に向けた意識の向上を図るため、排出量が増加傾向を示した場合には、必要に応じて収集袋や直接搬入ごみ及び事業系ごみの料金改定を検討する。

## イ. 環境教育・普及啓発・助成

### ●環境教育

#### ①藤沢市

毎年、環境保全に関する啓発行事の一環として、市民、事業者、学校、NPO法人等及び行政が協働し、環境フェアを開催するとともに、学校や地域での環境学習、廃棄物処理施設の施設見学会を実施しており、今後も引き続き、学校や地域での環境学習、施設見学会等をさらに充実するとともに、ごみの分別、減量、資源化に関する懇談会や学習会を開催する予定である。取組みの実績は表-6のとおりである。

表-6 藤沢市における環境教育の実績

項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
環境フェア	5,500人	5,960人	5,980人	5,857人	6,110人
施設見学会	49回	94回	89回	63回	53回
・焼却施設	3,872人	4,449人	4,462人	3,878人	4,161人
・最終処分場	19回	8回	25回	9回	11回
	434人	115人	749人	271人	511人
小学生のごみ体験 学習会 (保護者含む)	35回 3,678人	35回 3,808人	34回 3,717人	34回 3,722人	34回 3,684人
保育園のごみ体験 学習会 (保護者含む)	17回 1,032人	14回 928人	16回 943人	16回 958人	16回 949人

#### ②茅ヶ崎市

毎年、環境関係のNPOや市民活動団体との連携による「環境フェア」を実施し、この中で自然環境・地球温暖化問題と合わせマイバッグ・リターナブルビンなどごみ減量に向けた情報提供を行っている。また、市内の小学4年生を対象に「パッカー君のごみ探検」と題した副読本の配布や廃棄物処理施設の見学会を実施しており、今後も継続する予定である。

取組みの実績は表-7のとおりである。

表-7 茅ヶ崎市における環境教育の実績

項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
環境フェア	1,190人	1,520人	2,000人	2,200人	1,000人
施設見学会					
・焼却施設	3,056人	3,405人	2,995人	3,444人	3,190人
・資源物選別処理 施設	38回 1,075人	48回 1,579人	49回 1,727人	51回 1,703人	33回 1,174人
環境学習副読本 「パッカーくんのごみ探検」の配付 (小学4年生)	2,500冊	2,400冊	2,400冊	2,400冊	2,400冊

### ③寒川町

毎年ごみの発生抑制や分別・減量化に対する意識の向上を図るため、小学生や自治会を対象とした施設見学を随時実施している。今後は、教育委員会や関係団体と協力して、環境に対する学習会等を行うことを検討して意識啓発に努める。

取組みの実績は表-8のとおりである。

表-8 寒川町における環境教育の実績

項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
施設見学会 ・リサイクル施設	5回	5回	実施	実施	
・クリーンセンター	5回 244人	1回 120人	2回 187人		
環境学習 (石鹼作り教室)	実施	実施	実施		

### ●普及啓発

湘南東地域は廃棄物の減量化や集積所における分別指導のために各市町により名称は異なるが、下記に示すように減量推進員や指導員制度を設けて啓発に取り組んでいる。

また、「資源とごみの分け方・出し方」をはじめ、広報及びホームページ等による分別、減量・資源化の啓発やリサイクルに関する情報提供を実施してきた。

#### ①藤沢市

廃棄物減量等推進員（71名）によるごみの出し方や減量化・資源化を推進するための指導のほか、「資源とごみの分け方・出し方」、「ごみニュース」の発行を今後も継続していく。

#### ②茅ヶ崎市

環境指導員（319名）によるごみの出し方や減量化・資源化を推進するための指導のほか、「ごみと資源物の分け方・出し方」や「ごみ通信ちがさき」の発行を今後も継続していく。

#### ③寒川町

衛生指導員（165名）によるごみの出し方や減量化・資源化を推進するための指導、集積所の新設や変更に係る指導を行っている。また、広報やホームページなどを使って、ごみの分別や出し方に加え、ごみになりにくい製品の利用を呼びかけ、事業系ごみに関してリサイクルの徹底などを要請しつつ、削減に向けた施策の検討を行う。

### ●助成

#### ①藤沢市

昭和53年から市が定めた日、場所、容器に市民が資源物を分別して持ち出し、廃品回収業者（藤沢市資源回収協同組合）の協力を得て回収する、市民、回収事業者、市の3協働方式（藤沢方式）による資源回収を開始している。

この方式では、藤沢市資源回収協同組合が実施する資源物の回収、中間処理に要する費用の一部を補助することで資源物のリサイクルが行われており、自治会に対しては、資源物の分別回収について協力金制度を設けている。

平成3年度からコンポスト容器の設置者に助成（市が一括購入し、容量によって1,000円または2,000円で一世帯あたり2個までを限度に市民に配布）を行い、平成10年度からは、バケツ式（ぼかし）容器を、1,000円にて幹旋（バケツ式は4種類あり、1世帯2個まで）している。

平成10年からは電動式生ごみ処理機の購入者に、購入額の3/4（上限35,000円 平成18年度までは購入額の1/2（上限30,000円））を補助している。

今後も資源物の協力金制度の充実や、生ごみ処理機等の設置補助などにより、ごみの減量・資源化の推進を図る。

生ごみ処理機等の補助実績は表-9のとおりである。

表-9 藤沢市における生ごみ処理機等の補助実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
コンポスト容器(個)	465	886	501	505	302
電動式生ごみ処理機(個)	428	1,518	442	249	179

また、ごみの減量及び資源化に関する事業のため環境基金制度があり、この制度の活用を推進している。

（環境基金制度の概要は別添資料-7を参照。）

## ②茅ヶ崎市

ごみの減量・資源化に関する事業や市民活動に対するごみ減量基金制度の活用を図り、市民との協働により減量・資源化を促進する。

（ごみ減量基金制度の概要は別添資料-7を参照。）

平成3年度から生ごみ処理容器の設置者に助成（市が一括購入し、地上式は2,000円、地下式は3,000円（1セット2個入り）、バケツ式は1,000円）を行っている。

平成12年度からは電動式生ごみ処理機の購入者に、購入額の1/2（上限25,000円）を補助している。

生ごみ処理機等の普及実績は表-10のとおりである。

表-10① 茅ヶ崎市における生ごみ処理機等の補助実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
生ごみ処理容器(個)	114	137	223	294	252
電動式生ごみ処理機(個)	81	84	93	72	47

### ③寒川町

生ごみ処理機等の設置に対して補助を行うことにより、ごみの減量化を推進していく。  
また、環境美化を推進する自主的な活動を行う地域団体等に対して、活動に必要な物品等の補助を継続して行う。

平成3年度から生ごみ堆肥化容器の設置者に助成（町が一括購入し、容量によって1,200円、2,200円または2,600円で一世帯あたり2個までを限度に町民に配布）を行っている。

平成12年度からは電動式生ごみ処理機の購入者に、購入額の1/2（上限30,000円）を補助している。

生ごみ処理機等の補助実績は表-11に示すとおりである。

表-11 寒川町における生ごみ処理機等の補助実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
生ごみ堆肥化容器(個)	22	31	27	18	54
電動式生ごみ処理機(個)	38	28	23	16	9

## ウ. マイバッグ運動・レジ袋対策

### ①藤沢市

買い物の際にはマイバッグを持参するなど、ごみになるものを買わない、受け取らないように働きかけを行っている。

現在、売り場面積1,000m<sup>2</sup>以上の大型店舗は市内に42店舗あり、その内約70%にあたる28店舗がレジ袋の有料化やマイバッグ持参者に対してポイントを加算する等、レジ袋削減対策を実施している。今後は、レジ袋削減キャンペーンなどを定期的実施すると共に、大型店舗への働きかけを強化し、レジ袋削減対策を実施する大型店舗の拡大を目指す。

2010年(平成22年)4月に市は「藤沢市レジ袋削減推進モデル地域協議会」を発足させ、モデル地区内で賛同のあった店舗事業者及び消費者団体等各種団体と協働してレジ袋削減に向けた具体的な取組の検討を開始した。

### ②茅ヶ崎市

商店会連合会、大型店連絡協議会、消費者団体連絡会等との連携によるエコ・シティ茅ヶ崎マイバッグ推進会議に参画し、レジ袋を削減するため、マイバッグ運動を推進している。

茅ヶ崎市は、「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」（平成21年5月）に基づく「モデル地域」の第1号として指定され、「ハレの日包装」やレジ袋辞退者に対する割引制度などの取組みを行っている。

### ③寒川町

広報やホームページなどで買物時にマイバッグの持参を呼びかけ、ごみの減量化やリサ

イクルへの協力を推進していく。レジ袋について、配布の自粛など削減にむけた施策等の検討を行う。

## エ. ごみ減量推進店制度の拡大

ごみ減量推進店制度は現在、藤沢市と茅ヶ崎市で実施している。

### ①藤沢市

「ごみを売らない、買わない、出さない」運動を実践している「ごみ減量推進店」をホームページなどで紹介し、これら推進店のPRに努める。

推進店の取組みは、過剰包装の抑制、買物袋の持参運動、再利用可能物の回収、再資源化であり、平成22年度現在推進店は107店舗である（表-12）。

表-12 ごみ減量推進店の登録実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
新規登録	0	5	1	3	4
累計	96	101	106	107	107

### ②茅ヶ崎市

自然や環境にやさしい生活を心掛けることにより、リサイクル型の社会を築くため、ごみの資源化・減量化に積極的に取り組む市内の販売店等を「ごみ減量・リサイクル推進店」として認定し、市民への意識啓発を図っている。

推進店は、包装の簡素化推進、再生品の販売促進、資源回収及び買換え中古品の下取り等の推進、詰め替え用品等の無駄のない製品の販売促進、その他のごみ減量・リサイクルの推進、その他独自に行っているごみ減量・リサイクル推進事業の内、2つ以上取り組んでいるところを認定しており、平成22年度現在、74店舗である。

### ③寒川町

今後ごみ減量の意識啓発や資源の有効活用、適正包装に積極的に取り組む事業者に対して「エコショップ協力店」の指定に向けた検討を行う。

## オ. 再使用の推進

再使用の推進については、湘南東地域においてフリーマーケットや家庭で不用になった家具等の再利用を通し、ごみに対する理解を深め資源の有効利用を促進する取組みを続けている。

### ①藤沢市

藤沢市では、平成7年にリサイクル展示場を設け、市民からの再利用可能な家具の提供や大型ごみ中の再生可能品の補修等を進め、リサイクル展示場での販売等、活発化を図っており、これを継続する。リサイクル展示場における利用実績は、表-13のとおりであ

る。

なお、市によるリサイクル展示場の運営は、平成21年度末で終了したが、(株)藤沢市興業公社が自主事業として継続している。

表-13 藤沢市リサイクル数の実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
台数(点)	5,175	5,484	5,955	5,600	4,145
重量(t)	103.5	109.7	119.1	112.0	82.9

## ②茅ヶ崎市

平成8年にリサイクル品展示室を開設し、収集した大型ごみの中からリサイクル可能と思われる物品(主に家具類)を修理後、展示し、抽選で提供している。

リサイクル展示場における利用実績は、表-14のとおりである。

表-14 茅ヶ崎市リサイクル数の実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
リサイクル数	418点	397点	364点	358点	360点

## ③寒川町

年2回フリーマーケットを開催するとともに、広報などで「不要品登録制度」に関する情報提供を行い不要品の再使用を推進している。

フリーマーケットの実績は、表-15のとおりである。

表-15 寒川町におけるフリーマーケットの実績

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
フリーマーケット(開催回数及び来場者数)	2回 9,000人	2回 9,000人	2回 9,000人	2回 8,000人	2回 8,500人

## カ. 多量排出事業者等への減量、資源化の指導

湘南東地域においては、事業系ごみの減量及び適正処理を図るために、多量排出事業者に対しては、分別・資源化に係る計画書を提出させ、3Rを指導するほか、収集運搬許可業者を通じ、ごみの搬入時に検査を行い、受入れごみの分別排出の指導を強化すると共に、ごみの排出抑制、分別の徹底及び適正な排出を指導する。

## キ. 剪定枝、廃食用油の資源化等

### ①藤沢市

平成9年にチップ化施設を設置し、公共施設から排出される剪定枝をチップ化しマルチング材として利用を図り、また、平成19年度からは、家庭から発生する剪定枝を焼却せ

ずにチップ化し、資源として活用することによってごみの一層の減量を図ってきた。チップ化施設の閉鎖に伴い、平成21年度から、藤沢市有機質資源再生センターでチップ化を行い、家畜ふんの堆肥の副資材等としての利用を図っている他、市民センターで無料配布している。

家庭から排出される廃食用油は、平成19年度から分別収集を行い、バイオディーゼル燃料等として資源化している。

## ②茅ヶ崎市

平成24年度の寒川広域リサイクルセンター（茅ヶ崎・寒川地域）の稼働に合わせて、廃食用油の資源化を実施するため、平成23年4月から一部地域で分別収集のモデル事業を開始した。

剪定枝については、一般廃棄物処理基本計画の改定（平成23年度及び24年度の2ヵ年）の中で位置づけていく予定である。

## ③寒川町

平成9年度以降廃食用油を分別収集しており、これを継続する。

剪定枝は、公共施設から発生したもののみ、資源化している。

## ク. 生ごみの有効利用

藤沢市では、焼却施設の更新に併せて、生ごみからバイオガスを回収して活用することを計画していた。しかし、建設・維持管理費等経済性、温室効果ガス削減効果及びエネルギー収支の面での焼却施設の優位性、施設建設用地確保の困難、藤沢市規模の稼働施設の不存在及び新たな分別による市民負担の増加により、導入を見送ることとした。

茅ヶ崎市においては、バイオガス化施設の調査・研究を行っている。

## ケ. 資源の持ち去り・抜き取り防止

ステーションに排出された資源物の持ち去り・抜き取りの防止と資源のリサイクルの推進のため、藤沢市及び茅ヶ崎市では平成18年度に条例を改正した。

藤沢市においては、資源物の持ち去りが多い地域を中心にパトロールを実施している。

茅ヶ崎市においては、市民からの通報に基づくパトロールや、年末には茅ヶ崎警察の協力を得て市内全域のパトロールを行っており、今後も継続する。

## コ. 焼却残渣の資源化

藤沢市、茅ヶ崎市では、現在、民間委託で行っている焼却残渣の資源化を継続する。

焼却残渣の資源化実績は、表-16のとおりである。

表-16① 藤沢市における焼却残渣（不燃物）の有効利用実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用量(t)	1,846	1,199	1,148	1,093	1,118

注)量は石名坂

表-16② 藤沢市における焼却灰の有効利用実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
灰溶解量(t)	11,244	11,254	11,844	11,454	11,668

注)量は石名坂、北部の合計量

表-16③ 茅ヶ崎市における焼却残渣の有効利用実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
灰溶解量(t)	697	796	957	958	900

## サ. 分別資源の追加

### ①藤沢市

平成24年度から、50cm未満のプラスチック製の食器、洗面器、植木鉢、バケツを「商品プラスチック」として分別収集する。

### ②茅ヶ崎市

平成24年度のリサイクルセンター稼働に併せ、プラスチック製容器包装類の分別収集を開始する。

## シ. 生活排水対策

良好な生活環境の確保と公共用水域の保全の観点から、湘南東地域は、家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、公共下水道の整備及び接続の促進を図る。また、下水道整備までに期間を要する区域では、合併処理浄化槽の普及により、生活雑排水処理を進める。

### ①藤沢市

啓発イベントとして下水道フェアを毎年1回開催（表-17）するほか、下水道施設見学会の実施や浄化槽に関するパンフレットの配布などにより、下水道及び合併処理浄化槽による水質保全等の確保について広く知識、情報の提供を行う。

表-17 下水道フェアの開催状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
下水道フェア	—	2日間 3,757	2日間 4,175	2日間 3,757	2日間 4,176

## ②茅ヶ崎市

下水道整備地区においては、戸別訪問を行い、接続していない理由に即したきめ細やかな指導による接続促進を図り、下水道認可区域外の地域については、広く啓発活動等を通じて合併処理浄化槽の普及を促進し、水質改善を図る。

## ③寒川町

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、廃油ポットや三角コーナー、拭取紙等の排出抑制商品の普及と無リン洗剤や石けんの使用を進め、子供を中心に廃油を利用した石けんづくりの体験機会を設けるなどの広報活動を実施しながら啓発活動を継続して行っていく。

## (2) 処理体制

### ア. 家庭系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

湘南東地域の平成22年度の分別区分及び各ごみの処理方法は表-18のとおりである。

家庭ごみの分別区分は2市1町とも、可燃ごみ、不燃ごみ、大型ごみ及び資源物の4項目に大分別されている。

現状においては、資源物の分別区分はまだ統一されていない。

(平成23年度における湘南東地域の分別区分は別添資料-5を参照)

可燃ごみの処理は、藤沢市及び茅ヶ崎市は各市で所有している焼却施設にて焼却処理を行っている。寒川町は茅ヶ崎市に処理を委託している。

不燃ごみ、大型ごみの処理は藤沢市及び茅ヶ崎市は各市の施設において選別処理を行っている。寒川町では不燃ごみは千葉県の最終処分場、可燃粗大ごみは茅ヶ崎市環境事業センターへ委託している。なお、選別は、一之宮中継所で処理している。平成27年度4月からは茅ヶ崎市環境事業センター(粗大ごみ処理施設)へ搬入する。

資源物は、2市1町で独自の処理を行っているが、平成24年度に稼働を開始する寒川広域リサイクルセンター、平成26年度に稼働を開始する(仮称)藤沢市リサイクルセンターにおいて、現状以上の資源回収に努める。

可燃ごみについては、バイオガス化施設の整備を検討する。

表-18 湘南東地域のごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状 (平成22年度)									
分別区分	藤沢市			茅ヶ崎市			寒川町		
	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃ごみ	焼却 (熱回収)	石名坂環境事業所 北部環境事業所	86,253	焼却 (熱回収)	茅ヶ崎市環境事業センター	55,942	焼却 (熱回収)	茅ヶ崎市環境事業センター	9,998
不燃ごみ	破砕選別	焼却	8,621	破砕選別	焼却	6,527	選別	焼却	894
		リサイクル 埋立			リサイクル 茅ヶ崎市環境事業センター(粗大ごみ処理施設)			その他 委託	
大型ごみ	破砕、切断、選別	焼却	4,976	破砕選別	焼却	762	選別	焼却	800.8
		リサイクル			リサイクル 茅ヶ崎市環境事業センター(粗大ごみ処理施設)			破砕・一之宮中継所、焼却・茅ヶ崎市環境事業センター	
紙類*1	リサイクル	資源物選別処理施設	13,019	リサイクル	資源物選別処理施設	4,895	リサイクル	委託	1,029
紙パック			196			64		委託	—
段ボール			3,571			2,608		委託	371
布類*2			2,134			1,087		委託	284
ペットボトル			1,141			787		資源化設備	117
その他プラスチック製容器包装			6,602			—		資源化設備	670
びん			3,085			2,951		委託	304
カン・金属			1,337			—		委託	317
廃食用油			142			—		委託	13
剪定枝			327			—		—	—
乾電池	(105)	リサイクル	環境事業センター	47.0	—	—	—		

\*1 藤沢市：新聞等、本・雑誌、雑紙、茅ヶ崎市：新聞・チラシ、本・雑誌、雑紙、寒川町：新聞紙・広告紙、雑誌・本・書籍  
\*2 藤沢市：古布類、茅ヶ崎市：衣類、布類、寒川町：ボロ ( ) 内は不燃の内数

今後 (平成29年度)									
分別区分	藤沢市			茅ヶ崎市			寒川町		
	処理方法	処理施設等	処理量 (トン)	処理方法	処理施設等	処理量 (トン)	処理方法	処理施設等	処理量 (トン)
可燃ごみ	焼却 (熱回収)	石名坂環境事業所 北部環境事業所	82,434.1	焼却 (熱回収)	茅ヶ崎市環境事業センター	49,334	焼却 (熱回収)	茅ヶ崎市環境事業センター	9,390
不燃ごみ	破砕選別	焼却	8,082.6	破砕選別	焼却	5,870	選別	焼却	700
		リサイクル 埋立			仮称) 藤沢市リサイクルセンター			リサイクル 茅ヶ崎市環境事業センター(粗大ごみ処理施設)	
大型ごみ	破砕、切断、選別	焼却	5,077.0	破砕選別	焼却	778	選別	焼却	809
		リサイクル			仮称) 藤沢市リサイクルセンター、石名坂環境事業所			リサイクル 茅ヶ崎市環境事業センター(粗大ごみ処理施設)	
紙類	リサイクル	資源物選別処理施設	14,462	リサイクル	資源物選別処理施設	6,548	リサイクル	委託(直接搬入は寒川広域リサイクルセンター)	1,273
飲料用紙パック			199			363		委託	34
段ボール			3,625			2,898		委託	387
布類			2,166			1,644		委託	299
ペットボトル			1,168			880		委託	127
その他プラスチック製容器包装*4			7,977			3,829		委託	982
びん			3,157			2,169		委託	357
カン・金属			1,368			1,378		委託	349
廃食用油			144			112		委託	12
剪定枝			597			—		—	—
乾電池等*4	(94)	リサイクル	環境事業センター	48	—	—	—		

\*3 藤沢市は製品プラスチックを含む  
\*4 藤沢市：乾電池、蛍光管、卓上ガスボンベ、スプレー缶、水銀体温計(不燃の内数)、寒川町：不燃ごみに含む

## イ. 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系ごみは、今後も、家庭ごみの分別区分に準じて処理、処分を行う。

事業系ごみの排出量は、過去3年間減少傾向にあるが、より一層の削減に向け、多量排出事業者への減量、資源化の指導強化を継続する。

湘南東地域の新たな取組みは次のとおりである。

### ①藤沢市

平成19年1月稼働の家畜糞を堆肥として資源化する藤沢市有機質資源再生センターで、家畜糞と合わせて、事業系の剪定枝と食品残渣を年間約8,000 t 処理する。このほか、事業系の食品残渣年間約4,000 t を民間の施設で飼料化する。

平成19年4月に家庭系ごみの戸別収集を開始することにより、事業系ごみとの分離を図った。また、同年10月には、無料であった小規模事業者から排出される事業系ごみの有料化を実施するとともに、焼却施設への持ち込み手数料についても改定した。

### ②茅ヶ崎市

平成20年度の料金改定により、事業所内資源化の強化及び排出抑制を図った。

平成21、22年度には燃やせるごみの多量排出先において排出状況等の調査を実施した。

多量排出事業者に対する排出実態調査を継続し、的を絞った対策を展開していく。

### ③寒川町

平成19年度以降、事業者に対してごみの削減指導を強化し、食品残渣のリサイクル及び資源ごみの事業所内処理を要請(1事業所約500g/日の排出抑制の継続)している。

## ウ. 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

藤沢市においては産廃不燃物が年間約50 t (平成22年度実績) 搬入され、最終処分場に直接埋め立が行われている。

藤沢市が処理することができる産業廃棄物は現在以下のとおりである。

### ● 産業廃棄物の搬入者

産業廃棄物については、事業者の自己処理あるいは産業廃棄物処理業者・回収業者への委託処理を基本とするが、次の場合に限り、事前登録した市内業者については、当分の間持ち込みを認めている。

(1) 中小企業の工務店等が自らの建設事業に伴い発生したコンクリートブロック等の再資源化できない不燃性廃棄物を自ら搬入する場合

### ● 受け入れる産業廃棄物の種類と受け入れ場所

(1) 市内で発生した廃棄物処理法施行令第2条第9号に該当するもののうち、

- ① 石膏ボード
- ② 瓦

③ コンクリートブロック及びコンクリートがら（建設資源リサイクルセンターで再資源化できないもの）

受け入れ場所は、女坂最終処分場。

(2) 市内で発生した廃棄物処理法第2条第4項第1号中の廃プラスチック類及び同施行令第2条第5号から第7号に該当するもののうち、

① 廃家電製品（家電リサイクル法対象5品目及びパソコンを除く）

② 廃自転車及びその部品

受け入れ場所は、桐原環境事業所（平成26年4月以降は(仮称)藤沢市リサイクルセンター）。

## エ. 生活排水処理の現状と今後

湘南東地域は、現在、下水道整備地区においては下水道への転換の推進、下水道認可区域外においては合併処理浄化槽普及の拡大を推進している。

今後も引き続き、「神奈川県生活排水処理施設整備構想（生活排水処理100%計画）」（平成9年3月策定、平成16年3月、平成22年3月（素案）改訂）に示す基本方針に基づき、公共下水道への転換と合併処理浄化槽の整備を進めていく。

## オ. 今後の処理体制の要点

① 湘南東地域に整備するリサイクルセンター2施設における減量化、資源化を推進する。

また、茅ヶ崎・寒川地域の粗大ごみ処理の効率化・資源化を推進するための準備に着手する。

② 事業系ごみの削減を推進するために、藤沢市有機質資源再生センター等での資源化を推進するとともに、多量排出事業者の指導を強化する。

③ 適正な焼却体制を維持するため、茅ヶ崎市の焼却施設の延命化を図るとともに、藤沢市内の老朽化した焼却炉をエネルギー回収型廃棄物処理施設として計画し、更新を図る。

④ 下水道認可区域外への合併処理浄化槽の普及を図る。

### (3) 処理施設等の整備

#### ア. 廃棄物処理施設

上記(2)の統一化後の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表-19のとおり必要な施設整備を行う。

表-19 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）	（仮称）藤沢市リサイクルセンター整備事業	132t/日	藤沢市	H24～H25 （事業全体：H22～H25）
2	エネルギー回収型廃棄物処理施設	北部環境事業所2号炉増設事業	150t/日	藤沢市	第3次～第4次計画期間 （H30～H34）
3	エネルギー回収推進施設	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業	360t/日	茅ヶ崎市	H27～H28 （事業全体：H27～H29）
4	し尿処理施設	し尿処理施設基幹的設備改良事業	230k1/日	藤沢市	第4次計画期間 （H35～H37）

※ 現有処理施設の概要を添付（市町村別の現有施設名・種類、処理する廃棄物、処理能力、所在地、竣工年等、施設の概要について一覧表としたもの）

（整備理由）

- 事業番号1 既存施設の老朽化、容器包装リサイクル法に基づくリサイクルの完全実施に伴う処理機能の不足  
神奈川県湘南東地域循環型社会形成推進地域計画第1次計画の継続事業
- 事業番号2 既存施設の老朽化、熱エネルギーの積極的回収と温室効果ガスの発生抑制  
災害廃棄物処理施設としての位置付け
- 事業番号3 既存施設の老朽化、熱エネルギーの積極的回収と温室効果ガスの発生抑制
- 事業番号4 既存施設の老朽化、し尿・浄化槽汚泥の構成比の変化に対応した長期安定稼働

表-20に現有施設の概要を示す。

表-20 現在の施設の概要

番号	市町村名	施設名	処理する廃棄物	処理能力	所在地	稼働年月	備考
ごみ焼却施設							
1	藤沢市	北部環境事業所	可燃ごみ	300 t	藤沢市石川2168番地	1号炉 S47.5 2号炉 S49.10	1号炉更新 H19.3 2号炉改修 H16.3
2	藤沢市	石名坂環境事業所	可燃ごみ	390 t	藤沢市本藤沢2丁目1番1号	S59.3	改修 H12.3
3	茅ヶ崎市	環境事業センター	可燃ごみ	360 t	茅ヶ崎市萩園836番地	H7.9	
粗大ごみ・不燃ごみ処理施設							
4	藤沢市	桐原環境事業所	大型ごみ、不燃ごみ	90 t	藤沢市桐原町23番地の3	S54.3	改修 H2.2
5	茅ヶ崎市	環境事業センター	粗大ごみ、不燃ごみ	50 t	茅ヶ崎市萩園836番地	S52.8	
資源化施設							
6	藤沢市	空き缶選別施設	缶	12 t	藤沢市桐原町23番地の1	H4.4	
7	藤沢市	ビン選別施設	ビン	16~18 t	藤沢市桐原町23番地の1	H5.4	
8	藤沢市	ペットボトル圧縮梱包施設	ペットボトル	4.1 t	藤沢市桐原町23番地の1	H11.3	
9	茅ヶ崎市	資源物選別処理施設	びん、かん、ペットボトル	18.07 t	茅ヶ崎市茅ヶ崎3丁目4番7号	H5.2	
その他の施設							
10	藤沢市	環境事業センター（収集施設）	—	—	藤沢市遠藤2,023番地の17	S55.3	
11	藤沢市	環境事業センター南部収集事務所	—	—	藤沢市稲荷417	H11.2	
12	茅ヶ崎市	環境事業センター	—	—	茅ヶ崎市萩園1085	H3.3	
最終処分施設							
13	藤沢市	女坂最終処分場	焼却灰、不燃物	200,000 m <sup>3</sup>	藤沢市用田150番地	H9.3	

14	茅ヶ崎市	堤十二天一般廃棄物最終処分場	焼却灰	186,000 m <sup>3</sup>	茅ヶ崎市堤1300番地外	H16.4	
し尿処理施設							
15	藤沢市	藤沢市し尿処理施設	し尿、浄化槽汚泥	230k1	藤沢市石川2168	S36.6	第4期更新 H6.3
16	寒川町	寒川町美化センター	し尿、浄化槽汚泥	70k1	寒川町田端1578-3	H7.12	

## イ. 合併浄化槽の整備

合併浄化槽の整備については、表-21のとおり行う。

表-21① 藤沢市合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業	直近の整備済 基数(基) (平成22年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
5	浄化槽設置整備事業	20	240	696	H24~H28
	浄化槽市町村整備推進事業	0	0	0	
	その他地方単独事業	0	0	0	

表-21② 茅ヶ崎市合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業	直近の整備済 基数(基) (平成22年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
5	浄化槽設置整備事業	34	285	867	H24~H28
	浄化槽市町村整備推進事業	0	0	0	
	その他地方単独事業	0	0	0	

(4) 施設整備に関する計画支援事業及び長寿命化計画策定支援事業

廃棄物処理施設の長寿命化を図るための効率的な維持管理や更新整備の計画を策定するため、(3)の施設整備に先立ち、表-22のとおり計画支援事業を行う。

表-22① 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
32	北部環境事業所2号炉増設事業に対する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画作成</li> <li>事業方式検討業務</li> <li>アドバイザー業務</li> <li>生活環境影響調査</li> </ul>	H27～H28 (H27～H29)
33	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業(事業番号3)に対する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計(見積り仕様書作成、技術審査、最終発注仕様書作成)</li> </ul>	H26～H26
34	藤沢市石名坂環境事業所更新事業に対する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画作成</li> <li>事業方式検討業務</li> <li>アドバイザー業務</li> <li>生活環境影響調査</li> </ul>	第3次～第4次計画期間 (H32～H34)
35	仮称)茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備に対する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧炉解体事前調査・旧炉解体最終発注仕様書作成等(ダイオキシン類等調査、見積もり仕様書作成、最終発注仕様書作成)</li> <li>粗大ごみ処理施設基本構想</li> <li>粗大ごみ処理施設基本計画</li> <li>事業方式の可能性調査</li> <li>事業者選定</li> </ul>	H27～H32
36	藤沢市し尿処理施設基幹的設備改良事業に対する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌調査業務</li> <li>施設整備基本設計</li> <li>事業方式検討業務</li> <li>生活環境影響調査等</li> </ul>	第3次～第4次計画期間 (H32～H34)

表-22② 実施する長寿命化計画策定支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	茅ヶ崎市環境事業センター長寿命化計画策定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設保全計画</li> <li>延命化計画</li> </ul>	H24

## (5) その他の施策

### ア. 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

湘南東地域は、廃家電のリサイクルについて、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機・衣類乾燥機の特定家庭用機器再商品化法に基づくリサイクル処理の定着を図っている。適切な回収、再商品化がなされるよう、ごみカレンダーへの掲載や関連団体・小売店などと協力して、普及啓発を行う。

また、藤沢市及び寒川町では、法に基づく家電5品目以外の廃家電品について、継続して民間業者を活用しできる限り資源化を図る。

### イ. 不法投棄対策

#### ①藤沢市

藤沢市では、これまで警告センサーや不法投棄防止看板の設置、投棄物の迅速な処理のための定期巡回や処理体制の強化のほか、地権者に対するフェンス設置等の指導、利用の少ない公道への車止めの設置、投棄者の摘発及び摘発状況の広報等を行っている。

平成19年度からは、新たに移動式監視カメラの設置(3台)、夜間パトロールの強化(年間60日から年間90日に増加)、監視指導員の新設(常時4名体制)、通報制度を充実させるためのフリーダイヤルの設置、自治会役員等への通報カードの配布等の対策も行い、不法投棄防止に努めていくこととしている。

過去5年間の推移は表-23に示すとおりであり、減少傾向にある。

表-23 不法投棄の実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数(件)	2,119	1,990	1,588	1,522	1,349
重量(t)	131.1	89.6	55.6	70.9	69.1

#### ②茅ヶ崎市

茅ヶ崎市では、これまでの昼夜パトロールや不法投棄防止看板、警告装置の設置に加え、平成17年度に「茅ヶ崎市不法投棄防止対策事業実施要領」を策定、県や警察と連携した不法投棄の取り締まりや、不法投棄物の早期回収などに積極的な取り組みを行っている。

平成22年度では延べ90日間の夜間パトロールを実施するとともに、職員による不法投棄物の回収を兼ねたパトロールを毎日行っている。不法投棄物からの証拠物の発見による警察への通報件数については、平成21年度15件、平成22年度12件と減少しており、警察との連携も強化されている。

また、平成17年8月には市民、警察、行政からなる「茅ヶ崎市不法投棄防止対策連絡会」を設置し、半年毎の情報交換会を行っている。今後は、不法投棄に関する調査・研究やキャンペーン等の啓発活動など、不法投棄の防止に向けた活動も行っていく。

過去5年間の推移は表-24に示すとおりであり、平成21年度までは件数、量どちらも減少傾向にあったが、平成22年度は件数が増加した。

表-24 不法投棄の実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数 (件)	445	416	317	248	360
重量 (t)	83	39	37	25	23

### ③寒川町

河川、道路敷等に不法に投棄される廃棄物を中心にパトロールを実施しており、国土交通省京浜河川事務所相模川出張所、茅ヶ崎警察署、神奈川県湘南地域県政総合センター、神奈川県相模川総合整備事務所及び高座地区河川をきれいにする会の会員企業等との協力による「寒川町廃棄物不法投棄監視指導取締実施要項」を平成元年7月に策定し、毎月1回不法投棄監視パトロールを実施している。

さらに、相模川を中心とした公共用地（国・県管理地）を4ブロックに分け、週に1ブロックごとの不法投棄清掃の委託を実施し常に不法投棄がされないように環境美化に努めており（不法投棄・散乱ごみ総合対策推進事業）、平成22年度の実績として116 tの不法投棄物を収集している。

また、毎年5月30日を「ごみゼロの日」と定め、「河川一斉美化キャンペーン」を実施しており、平成22年度には、23自治会、35団体（企業、学校、河川利用者関係団体等）による計1,515人が参加して相模川河川敷及び目久尻川、小出川河川敷のごみ3.26 tを収集している。さらに、自治会の協力を得て「まちぐるみ美化運動」を年2回実施しており、40.98 tのごみが回収されている。

この他、平成15年2月より寒川郵便局との協定により、不法投棄の発見や情報提供の協定を結んでいる。

なお、実際に不法投棄された廃棄物については、中身を検査し不法投棄者が判明した時は、警察と協力し撤去を要請している他、不法投棄された場所により道路管理者、河川管理者等に撤去と今後の対策を要請している。

過去5年間の推移は表-25に示すとおりであり、減少傾向にある。

表-25 不法投棄の実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
重量 (t)	531	458	373	120	116

## ウ. 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時の一般廃棄物及び災害により発生する廃棄物については、湘南東地域内や神奈川県及び近隣自治体との連携を図り、収集運搬、処理・処分の迅速・円滑な処理を推進する。

### ①藤沢市

「地域防災計画」において「応援協定等に基づいて他都市、関係機関、下水道工事業者への応援要請を行い、機材・人員等の復旧に際しての協力を図る」と、定め、災害廃棄物の一時保管場所について、表-26のとおり設定している。

表-26 藤沢市一時保管場所

	名称	所在地	面積
①	谷根多目的運動広場	大鋸1264	14,000 m <sup>2</sup>
②	女坂スポーツ広場	用田220	15,700 m <sup>2</sup>
③	女坂最終処分場	用田150	17,700 m <sup>2</sup>
④	葛原最終処分場	葛原1777	23,000 m <sup>2</sup>
⑤	葛原第二最終処分場	葛原1800	19,700 m <sup>2</sup>
	合計		90,100 m <sup>2</sup>

### ②茅ヶ崎市

「茅ヶ崎市災害廃棄物等処理マニュアル」において、災害廃棄物の収集や処理・処分についての計画を策定することとしており、廃棄物の仮置き場等についても計画収集量の推計や搬入ルート等により場所の選定を行うこととしている。

### ③寒川町

「寒川町地域防災計画」において、災害時の一般廃棄物及び災害により発生する廃棄物について、なるべく早期に収集を行い原則的には茅ヶ崎市環境部環境事業センター及び資源物ごみについては、寒川広域リサイクルセンター等で処理するものとするが、処理能力を超える大量の廃棄物が発生したとき、またはそのおそれがあるときは臨時集積所を設置するものとし、臨時集積所の候補地を表-27のとおり定めている。

表-27 寒川町の臨時集積所

場 所	所在地	面 積
寒川町青少年広場	寒川町大蔵344番地 外	31,262 m <sup>2</sup>

## 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

湘南東地域各市町は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

第2次計画期間終了後、計画の進捗状況を把握し、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

## 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1（平成 24 年度）

### 1 地域の概要

(1)地域名	湘南東地域	(2)地域内人口	696,817 人	(3)地域面積	118.69 k m <sup>2</sup>		
(4)構成市町村等名	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	(5)地域の要件*	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他				
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立されていない場合、今後の見通し：	設立（予定）年月日：		年	月	日	設立、認可予定

\* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

### 2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指 標	過去の状況・現状（排出量に対する割合）					目標（割合*1） （平成29年度）			
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度				
排出量	事業系 総排出量(トン)	49,744	49,923	46,712	44,638	44,665	41,044	トン	-8.1%
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	2.3	2.4	2.2	2.2	2.2	2.0	トン/事業所	-9.1%
	家庭系 排出量(トン)	172,419	160,968	155,426	154,066	153,865	155,003	トン	0.74%
	1人当たりの排出量(kg/人)	223	203	193	190	189	173	kg/人	-8.5%
	合 計 事業系家庭系排出量合計(トン)	222,163	210,891	202,138	198,704	198,530	196,047	トン	-1.25%
再生利用量	直接資源化量（トン）	13,135	13,457	11,986	11,746	11,839	15,036	トン	
	排出量に対する割合	5.9%	6.4%	5.9%	5.9%	6.0%	7.7%		
	総資源化量（トン）	66,677	66,415	64,228	62,776	62,670	70,809		
	排出量に対する割合	26.8%	28.0%	28.4%	28.3%	28.2%	32.0%		
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	25,731	41,697	38,572	40,036	41,765	31,699		
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	166,631	156,581	150,469	147,790	147,876	140,427		
	排出量に対する割合	75.0%	74.2%	74.4%	74.4%	74.5%	71.6%		
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	12,514	12,430	11,478	11,411	11,326	9,787		
	排出量に対する割合	5.6%	5.9%	5.7%	5.7%	5.7%	5.0%		

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合。ただし、総資源化量については、リサイクル率で示す。

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（人口トレンドは別添資料-1、ごみ排出量等のトレンドは別添資料-2参照）

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び 処理方式	補助の 有無	処理能力 (単位)	開始年月	更新、廃止 予定年月日	更新、廃止、 新設理由	型式及び 処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力 (単位)	
石名坂環境事業所 焼却施設	藤沢市	全連続燃焼式巡回 流型流動床式	有	390 t /24h	昭和59年3月	更新 平成38 年度	老朽化の為		平成38年度	260 t /24 h	
北部環境事業所 焼却施設 1号炉	藤沢市	全連続燃焼式焼却 炉（火格子式）	有	150 t /24h	昭和47年5月	更新 平成19 年4月	老朽化の為	全連続燃焼式焼 却炉（火格子式）	平成19年3月	150 t /24 h	
北部環境事業所 焼却施設 2号炉	藤沢市	全連続燃焼式焼却 炉（火格子式）	有	150 t /24h	昭和49年 10月	廃止 平成25 年 3月 更新 平成35 年度	老朽化の為	全連続燃焼スト ーカ炉	平成35年3月	150t/24h	
環境事業センター 焼却施設	茅ヶ崎市	全連続燃焼式スト ーカ炉	有	360 t /24h	平成7年9月	更新 平成30 年度	延命化の為		平成30年度		29年度までに 工事完了予定
空き缶選別施設	藤沢市	缶選別機、プレス機	有	12 t /日	平成4年4月	廃止 平成25 年 3月	老朽化の為		平成25年4月		
あきびん選別施設	藤沢市	手選別	有	16 t ~18 t /日	平成5年2月	廃止 平成25 年 3月	老朽化の為		平成25年4月		
ペットボトル圧縮梱包 施設	藤沢市	ストックヤード 圧縮梱包機	有	4.1 t /日	平成11年3月	廃止 平成25 年 3月	老朽化の為		平成25年4月		
容器洗浄施設	藤沢市	資源回収容器洗浄	無	700個/H	平成6年4月	廃止 平成25 年 3月	老朽化の為		平成25年4月		
資源物選別処理施設	茅ヶ崎市	手選別	有	18.07 t /日	平成5年2月	廃止 平成24 年3月	老朽化の為		平成24年3月		
資源ごみ処理施設	寒川町	手選別	無	5 t /日	昭和59年3月	廃止 平成24 年2月	老朽化の為		平成24年3月		

桐原環境事業所	藤沢市	横型回転式破砕機	有	90 t / 6 h	昭和54年3月	廃止 平成25年 3月	老朽化の為		平成25年4月		
環境事業センター 粗大ごみ処理施設	茅ヶ崎市	破砕、選別	有	50 t / 5 h	昭和52年8月	更新 平成35年3月	老朽化の為	未定	平成35年度	28 t / 日	
仮称) 藤沢市リサイクルセンター	藤沢市					新設	統合	破砕、選別、圧縮、貯留	平成25年3月	132 t / 日	
寒川広域リサイクルセンター	寒川町					新設	統合	選別、圧縮、貯留	平成24年3月	55.5 t / 日	
女坂最終処分場	藤沢市	凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭	有	200,000 m <sup>3</sup>	平成9年3月						
堤十二天一般廃棄物最終処分場	茅ヶ崎市	凝集沈殿＋砂ろ過＋微量有害物質除去	有	186,000 m <sup>3</sup>	平成16年4月						
藤沢市し尿処理施設	藤沢市	ばっ気+遠心脱水+凝集沈殿	有	230KL	昭和36年6月						
寒川町美化センター	茅ヶ崎市、寒川町	高負荷脱窒素処理方式	有	70KL	平成7年12月						

※ 計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付する。（施設の位置は別添図-1参照 施設の詳細は別添資料-6参照）

4-1 生活排水処理の現状と目標（湘南東地域）

指標・単位		年度		過去の状況・現状					目標
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成29年度		
総人口		674,816	680,130	684,960	688,984	692,303	704,671		
公共下水道	汚水衛生処理人口	605,742	614,100	622,041	627,945	635,404	663,392		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	89.8%	90.3%	90.8%	91.1%	91.8%	94.1%		
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0	0		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	10,181	9,619	10,675	10,528	10,396	13,325		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.5%	1.4%	1.6%	1.5%	1.5%	1.9%		
未処理人口	汚水衛生未処理人口	58,893	56,411	52,244	50,511	46,503	27,954		
	汚水衛生未処理率	8.7%	8.3%	7.6%	7.3%	6.7%	4.0%		

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（人口トレンドは別添資料-1参照、生活排水処理の予測は別添資料-3参照）

4-2 生活排水処理の現状と目標（藤沢市）

指標・単位		年度		過去の状況・現状					目標
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成29年度		
総人口		398,481	402,096	405,243	407,287	409,734	416,466		
公共下水道	汚水衛生処理人口	360,406	364,950	369,019	372,861	378,165	395,044		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	90.4%	90.8%	91.1%	91.5%	92.3%	94.9%		
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0	0		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,503	2,666	2,830	2,933	3,036	3,602		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.9%		
未処理人口	汚水衛生未処理人口	35,572	34,480	33,394	31,493	28,533	17,820		
	汚水衛生未処理率	8.9%	8.6%	8.2%	7.7%	7.0%	4.3%		

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（人口トレンドは別添資料-1参照、生活排水処理の予測は別添資料-3参照）

4-3 生活排水処理の現状と目標（茅ヶ崎市）

指標・単位		過去の状況・現状					目標
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成29年度
総人口		228,879	230,565	232,237	234,114	235,140	240,132
公共下水道	汚水衛生処理人口	205,914	209,088	212,626	214,333	216,287	222,727
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	90.0%	90.7%	91.6%	91.6%	92.0%	92.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0	0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	5,087	4,515	4,720	4,850	4,547	8,370
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.2%	2.0%	2.0%	2.1%	1.9%	3.5%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	17,878	16,962	14,891	14,931	14,306	9,035
	汚水衛生未処理率	7.8%	7.4%	6.4%	6.4%	6.1%	3.8%

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（人口トレンドは別添資料-1参照、生活排水処理の予測は別添資料-3参照）

4-2 生活排水処理の現状と目標（寒川町）

指標・単位		過去の状況・現状					目標
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成29年度
総人口		47,456	47,469	47,480	47,583	47,429	48,073
公共下水道	汚水衛生処理人口	39,422	40,062	40,396	40,751	40,952	45,621
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	83.1%	84.4%	85.1%	85.6%	86.3%	94.9%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0	0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,591	2,438	3,125	2,745	2,813	1,353
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5.5%	5.1%	6.6%	5.8%	5.9%	2.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	5,443	4,969	3,959	4,087	3,664	1,099
	汚水衛生未処理率	11.5%	10.5%	8.3%	8.6%	7.7%	2.3%

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（人口トレンドは別添資料-1参照、生活排水処理の予測は別添資料-3参照）

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
合併浄化槽設置整備事業	藤沢市	382	1,014	平成13年 4月	240	696	平成29年度	H24～H28
合併浄化槽設置整備事業	茅ヶ崎市	823	3,642	平成3年 4月	285	867	平成29年度	H24～H28

注1) 現有施設は平成22年度までの実績

※ 別添資料として計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付する。

（浄化槽整備計画図は別添図-2、3参照、整備実績及び予定は別添資料-4参照）

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成24年度)

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模	事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備 考			
				単位	開始	終了	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度		平成 28年度		
○再生利用に関する事業							3,629,671	2,872,695	756,976	0	0	0	2,975,690	2,828,395	147,295	0	0	0	
(仮称)藤沢市リサイクルセンター							3,629,671	2,872,695	756,976	0	0	0	2,975,690	2,828,395	147,295	0	0	0	
施設整備工事	1	藤沢市	132 t/日	H24	H25		3,629,671	2,872,695	756,976				2,975,690	2,828,395	147,295				
○熱回収等に関する事業							2,559,007	0	0	0	484,014	2,074,993	2,471,997	0	0	0	482,730	1,989,267	
北部環境事業所2号炉増設事業							0						0						第3次～第4次 計画
施設整備工事(焼却炉解体含む)	2	藤沢市	150 t/日				0						0						総事業費は 16,200,000
環境事業センター基幹的設備改良事業							2,559,007	0	0	0	484,014	2,074,993	2,471,997	0	0	0	482,730	1,989,267	
焼却炉基幹的設備改良事業	3	茅ヶ崎市	360 t/日	H27	H28		2,559,007				484,014	2,074,993	2,471,997				482,730 エネルギー対策 特別会計活用	1,989,267 エネルギー対策 特別会計活用	総事業期間は H27～H29 総事業費は 4,795,200
○し尿処理に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北部環境事業所基幹的設備改良事業	4	藤沢市	230 kl/日				0						0						第4次計画
○浄化槽に関する事業							132,375	26,475	26,475	26,475	26,475	26,475	132,375	26,475	26,475	26,475	26,475	26,475	
浄化槽設置整備	5	藤沢市	240 基	H24	H28		63,645	12,729	12,729	12,729	12,729	12,729	63,645	12,729	12,729	12,729	12,729	12,729	
浄化槽設置整備	5	茅ヶ崎市	285 基	H24	H28		68,730	13,746	13,746	13,746	13,746	13,746	68,730	13,746	13,746	13,746	13,746	13,746	
○廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業							5,500	5,500	0	0	0	0	5,500	5,500	0	0	0	0	
長寿命化計画策定業務	31	茅ヶ崎市	360 t/日	H24	H24		5,500	5,500					5,500	5,500	0	0	0	0	
○施設整備に関する計画支援に関する事業							80,166	0	0	4,083	30,446	45,637	78,762	0	0	4,083	29,042	45,637	
北部環境事業所2号炉増設事業							62,690				20,952	41,738	61,286				19,548	41,738	
事業番号2に対する支援事業	32	藤沢市	150 t/日	H27	H28		62,690				20,952	41,738	61,286				19,548	41,738	総事業期間は H27～H29 総事業費は 96,868
環境事業センター基幹的設備改良事業関連							4,083	0	0	4,083	0	0	4,083	0	0	4,083	0	0	
事業番号3に対する支援事業	33	茅ヶ崎市	360 t/日	H26	H26		4,083			4,083			4,083			4,083			
石名坂環境事業所更新事業関連							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第4次計画対象整備施設の支援事業	34	藤沢市	120 t/日				0						0			0			第3次～第4次 計画
(仮称)茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設 整備事業関連							13,393	0	0	0	9,494	3,899	13,393	0	0	0	9,494	3,899	
第3次計画対象整備施設の支援事業	35	茅ヶ崎市	28 t/日	H27	H28		13,393				9,494	3,899	13,393				9,494	3,899	総事業期間は H27～H32 総事業費は 76,476
北部環境事業所し尿処理施設基幹的設備改 良事業関連							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第4次計画対象整備施設の支援事業	36	藤沢市	230 kl/日				0						0				0	0	第3次～第4次 計画
合 計							6,406,719	2,904,670	783,451	30,558	540,935	2,147,105	5,664,324	2,860,370	173,770	30,558	538,247	2,061,379	

## 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号※1	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金必要の要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	料金改定	排出抑制、排出者負担の原則の継続を図り、適宜直接搬入ごみ及び事業系ごみの料金改定を図る。	構成市町	24	28		検討・事業実施(適宜)					
	12	環境フェア開催、施設見学	環境フェアの開催や、学校や地域での環境学習、施設見学会等を継続する。	構成市町	24	28		事業実施					
	13	マイバッグ運動	レジ袋を削減するため、レジ袋削減の啓発・マイバッグ運動の推進等に努める。	構成市町	24	28		事業実施(藤沢市、茅ヶ崎市) 検討・制度化(寒川町)					
	14	エコショップ等	ごみ減量やリサイクルを推進している店を認定する制度の推進に努める。	構成市町	24	28		実施(藤沢市、茅ヶ崎市) 検討・制度化(寒川町)					
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別資源の追加	商品プラスチックの分別収集(有害ごみ・危険ごみの分別)	藤沢市	24	28		事業実施					
	22	分別資源の追加	循環型社会形成推進のためのリサイクルセンター整備に伴う廃食用油、容器包装プラスチックの分別収集	茅ヶ崎市	24	28		事業実施					
	23	分別資源の変更	剪定枝の分別の検討	寒川町	24	28		事業検討					
処理施設の整備に関するもの	1	仮称)藤沢市リサイクルセンター整備事業	藤沢市リサイクルセンター施設整備	藤沢市	24	25	○	建設工事					事業開始は平成22年度
	2	北部環境事業所2号炉増設整備事業	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業	藤沢市			○						第3次～第4次計画
	3	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業	茅ヶ崎市	27	28	○	基幹的設備					総事業期間は平成27～29年度
	4	し尿処理施設基幹的設備改良事業	し尿処理施設基幹的設備改良事業	藤沢市			○						第4次計画
	5	浄化槽設置整備事業	浄化槽の設置整備費補助	藤沢市 茅ヶ崎市	24	28	○	合併浄化槽整備					
長寿命化計画策定支援事業に関するもの	31	茅ヶ崎市環境事業センターごみ焼却施設長寿命化計画策定事業	長寿命化計画策定業務(施設保全計画、延命化計画)	茅ヶ崎市	24	24	○	長寿命化計画					
施設整備に係る計画支援に関するもの	32	北部環境事業所2号炉増設整備事業(事業番号2)に対する支援事業	基本計画作成、事業方式検討、生活環境影響調査等	藤沢市	27	28	○	基本計画作成、事業方式検討、生活環境影響調査等					支援事業は平成29年度まで
	33	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業に対する支援事業	基本設計(見積り仕様書作成、技術審査、最終発注仕様書作成)	茅ヶ崎市	26	26	○	基本設計(発注仕様書含む)					
	34	藤沢市石名坂環境事業所更新事業に対する支援事業	基本計画作成、事業方式検討、生活環境影響調査等	藤沢市			○						第3次～第4次計画
	35	仮称)茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備に対する支援事業	旧炉解体事前調査・最終発注仕様書作成、粗大ごみ処理施設基本構想、粗大ごみ処理施設基本計画等	茅ヶ崎市	27	28	○	旧炉解体ダイオキシン類等調査、基本構想等					支援事業は32年度工事は平成30～34年度
	36	藤沢市し尿処理施設基幹的設備改良事業に対する支援事業	土壌調査業務、施設整備基本設計、事業方式検討、生活環境影響調査等	藤沢市			○						第3次～第4次計画
	その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	ごみカレンダーへの掲載や関連団体・小売店などの協力による普及啓発の継続	構成市町	24	28		普及啓発				
42		不法投棄対策	夜間パトロールの実施やライトの設置、不法投棄防止看板、地元自治会等と連携による不法投棄防止の取り組みの継続	構成市町	24	28		パトロール等					
43		災害時の廃棄物処理	湘南東地域で災害時の対策についての協議をし、体制を構築	構成市町	24	28		検討					

## 施設概要（マテリアルリサイクル推進施設系）

（リサイクルセンター）

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市
(2) 施設名称	仮称) 藤沢市リサイクルセンター
(3) 工期	平成 24 年度 ～ 平成 25 年度 (事業全体：平成22年度～平成25年度)
(4) 施設規模	処理能力 132 t/日
(5) 処理方式	破砕、選別、圧縮・梱包
(6) 地域計画内の役割	湘南東地域(藤沢地域)のマテリアルリサイクル推進拠点として立地し、粗大ごみ、不燃物からの有価物回収及び収集資源ごみの選別等を行い、リサイクル率の向上に資する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	
---------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	
---------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	
---------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	
-----------------------	--

(12) 事業計画額（千円）	3,629,671千円（事業全体：4,825,831千円）
----------------	-------------------------------

## 施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市
(2) 施設名称	北部環境事業所 2号炉
(3) 工期	第3次～第4次計画期間（平成 30 年度 ～ 平成 34 年度）（CO <sub>2</sub> 削減率 20.5%相当）
(4) 施設規模	処理能力 150 t / 日
(5) 形式及び処理方式	全連続燃焼ストーカ炉
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> 有(発電効率 %) ・無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> 有(熱回収効率 %) ・無
(7) 地域計画内の役割	既存施設の老朽化に伴い焼却施設の長期安定稼働に資する。 発電効率の向上を図り、熱エネルギーの積極的回収と有効利用を推進するとともに温室効果ガスの発生抑制に資する。
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 無

「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	1. 発生ガス回収効率 Nm <sup>3</sup> /t 2. 発生ガス量 Nm <sup>3</sup> /日
(11) 回収ガスの利用計画	

(12) 事業計画額（千円）	0千円（第3次～第4次計画期間：16,200,000千円）
----------------	-------------------------------

## 施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	茅ヶ崎市
(2) 施設名称	環境事業センター
(3) 工期	平成 27 年度 ～ 平成 28 年度 (CO <sub>2</sub> 削減率 20%) (事業全体：平成27年度～平成29年度)
(4) 施設規模	処理能力 360 t / 日 (120 t / 日 × 3 炉)
(5) 形式及び処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 (発電効率 12 %) ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 (熱回収効率 82 %) ・ 無
(7) 地域計画内の役割	既存施設の老朽化に伴い基幹的設備改良工事を実施し焼却施設の長期安定稼働に資する。 発電効率の向上を図り、熱エネルギーの積極的回収と有効利用を推進するとともに温室効果ガスの発生抑制に資する。
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	1. 発生ガス回収効率 Nm <sup>3</sup> /t 2. 発生ガス量 Nm <sup>3</sup> /日
(11) 回収ガスの利用計画	

(12) 事業計画額 (千円)	2,559,007千円 (事業全体：4,795,200千円) ※事業計画額のうち、2,471,997千円についてはエネルギー対策特別会計を活用
-----------------	--

## 施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市
(2) 施設名称	北部環境事業所
(3) 工期	第4次計画期間（平成35年度～平成37年度）（CO <sub>2</sub> 削減率 3%）
(4) 施設規模	処理能力 230 k1/日
(5) 形式及び処理方式	ばっ気処理+遠心脱水処理+凝集沈殿処理
(6) 地域計画内の役割	し尿処理施設が老朽化しているとともに、し尿・浄化槽汚泥の収集・処理量が減少し、構成比も変化することから、基幹的設備改良工事を実施し、施設の長期安定稼働及び温室効果ガスの削減に資する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	
(9) 資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	人 面積	人 m <sup>2</sup>
(11) 計画地域の性格		

(12) 事業計画額（千円）	0千円（第4次計画期間：1,098,630千円）
----------------	--------------------------

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域の保全を図るため、下水道未整備区域における生活雑排水の適正処理が必要なことから、合併処理浄化槽を整備する。
(4) 事業期間	平成 24 年度～平成 28 年度
(5) 事業対象地域の要件	公共下水道の事業認可対象区域を除く藤沢市行政区域を事業対象とする。
(6) 事業計画額	総事業費 63,645 千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

## ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

人槽区分	交付対象基数 ( 696 人分)	うち 単独撤去	基準額 (千円)	対象経費 支出予定額 (千円)	交付対象 事業費 (千円)
5人槽	165 基 ( 396 人分)	20基	39,120	39,120	39,120
6～7人槽	50 基 ( 175 人分)	10基	15,300	15,300	15,300
8～10人槽	25 基 ( 125 人分)	0基	9,225	9,225	9,225
11～20人槽	基 ( 人分)	基			
21～30人槽	基 ( 人分)	基			
31～50人槽	基 ( 人分)	基			
51人槽以上	基 ( 人分)	基			
改築	基				
計画策定調査費					
合計	240 基 ( 696 人分)	30基	63,645	63,645	63,645

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	茅ヶ崎市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域の保全を図るため、下水道認可区域外における生活雑排水の適正処理が必要なことから、合併処理浄化槽の整備を推進する。
(4) 事業期間	平成 24 年度～平成 28 年度
(5) 事業対象地域の要件	公共下水道の事業認可対象区域を除く茅ヶ崎市行政区域を事業対象とする。
(6) 事業計画額	総事業費 68,730 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

## ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

人槽区分	交付対象基数 ( 867 人分)	うち 単独撤去	基準額 (千円)	対象経費 支出予定額 (千円)	交付対象 事業費 (千円)
5人槽	140 基 ( 426 人分)	25基	27,390	27,390	27,390
6～7人槽	125 基 ( 380 人分)	35基	33,120	33,120	33,120
8～10人槽	20 基 ( 61 人分)	10基	8,220	8,220	8,220
11～20人槽	基 ( 人分)	基			
21～30人槽	基 ( 人分)	基			
31～50人槽	基 ( 人分)	基			
51人槽以上	基 ( 人分)	基			
改 築	基				
計画策定調査費					
合 計	285 基 ( 867 人分)	70基	68,730	68,730	68,730

## 長寿命化計画策定支援概要

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	茅ヶ崎市
(2) 事業目的	環境事業センター基幹的設備改良事業のため
(3) 事業名称	茅ヶ崎市環境事業センター長寿命化計画策定事業
(4) 事業期間	平成 24 年度
(5) 事業概要	長寿命化計画策定 ・施設保全計画 ・延命化計画
(6) 事業計画額 (千円)	5,500千円

## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市		
(2) 事業目的	北部環境事業所 2 号炉増設事業のため		
(3) 事業名称	基本計画作成 事業方式検討業務	アドバイザー業務 生活環境影響調査	アドバイザー業務 生活環境影響調査
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 28 年度 (事業全体：平成 28年度～ 平成 29年度)	第 3 次計画期間 (平成 29年度)
(5) 事業概要	焼却施設整備基本計画の作成及び事業方式を選定する。	・実施方針の作成、特定事業の選定、要求水準書を作成する。 ・焼却施設の稼働が周辺環境へ及ぼす影響について事前に予測評価を行う。	・事業者公募、審査及び選定を行う。 ・焼却施設の稼働が周辺環境へ及ぼす影響について事前に予測評価を行う。

(6) 事業計画額 (千円)	20,952千円	41,738千円 (事業全体：75,916千円)	第 3 次計画期間 (34,178千円)
-------------------	----------	-----------------------------	-------------------------

## 計画支援概要

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	茅ヶ崎市
(2) 事業目的	環境事業センター焼却施設基幹的設備改良事業のため
(3) 事業名称	基幹的設備改良工事基本設計
(4) 事業期間	平成 26 年度～平成 26 年度
(5) 事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・見積もり仕様書作成</li><li>・技術審査</li><li>・最終発注仕様書作成</li></ul>
(6) 事業計画額 (千円)	4,083千円

## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市		
(2) 事業目的	石名坂環境事業所更新事業のため		
(3) 事業名称	基本計画作成 事業方式検討業務	アドバイザー業務 生活環境影響調査	アドバイザー業務 生活環境影響調査
(4) 事業期間	第3次計画期間 (平成 32 年度)	第3次計画期間 (平成 33 年度)	第4次計画期間 (平成 34年度)
(5) 事業概要	焼却施設整備基本計画の作成及び事業方式を選定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方針の作成、特定事業の選定、要求水準書を作成する。</li> <li>・焼却施設の稼働が周辺環境へ及ぼす影響について事前に予測評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者公募、審査及び選定を行う。</li> <li>・焼却施設の稼働が周辺環境へ及ぼす影響について事前に予測評価を行う。</li> </ul>
(6) 事業計画額 (千円)	20,952千円	51,743千円	38,254千円

## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	茅ヶ崎市		
(2) 事業目的	茅ヶ崎市及び寒川町粗大ごみ処理施設整備のため		
(3) 事業名称	粗大ごみ処理施設基本構 想	旧炉解体事前調査等	粗大ごみ処理施設基本計 画、事業方式の可能性調 査及び事業者選定等
(4) 事業期間	平成 27 年度 ～平成 28 年度	平成 27年度 ～平成 28年度	(第3次計画期間) 平成 29 年度 ～平成 32 度
(5) 事業概要	・粗大ごみ処理施設建設 のための基本構想策定	・ダイオキシン類・アス ベスト調査 ・見積もり仕様書作成	・粗大ごみ処理施設建設 のための基本計画策定 ・最終発注仕様書の作成 ・測量、地質調査 ・生活環境影響調査 ・PFI等導入可能性調査 ・事業者選定
(6) 事業計画額 (千円)	3,672千円	9,720千円	63,084千円

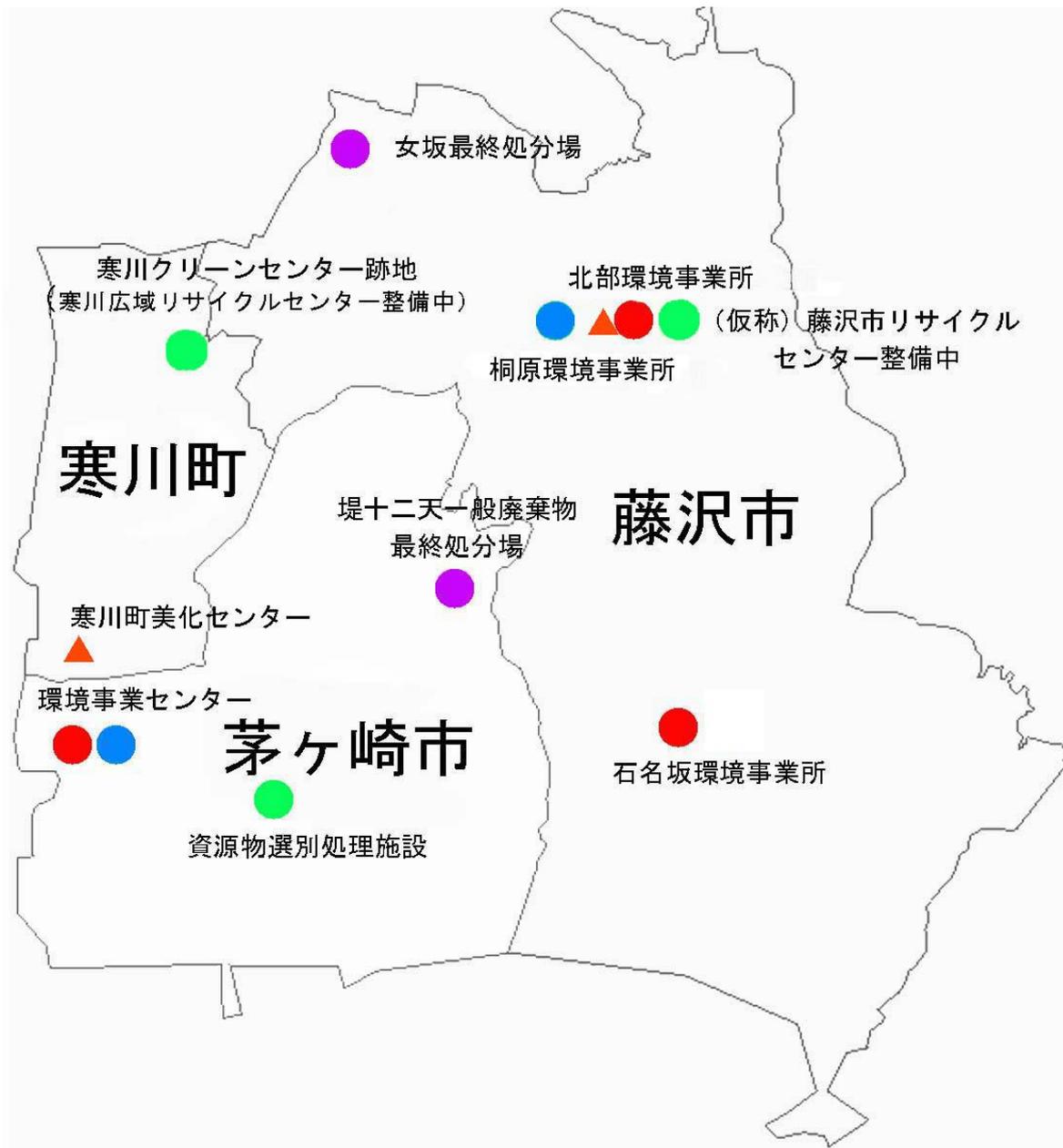
## 計 画 支 援 概 要

都道府県名 神奈川県

(1) 事業主体名	藤沢市		
(2) 事業目的	北部環境事業所し尿処理施設基幹的設備改良事業のため		
(3) 事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌調査業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹的設備改良工事基本設計</li> <li>・ 事業方式検討業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹的設備改良工事生活環境影響調査等</li> </ul>
(4) 事業期間	第3次計画期間 (平成 32年度)	第3次計画期間 (平成 33年度)	第4次計画期間 (平成 34 年度)
(5) 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設用地土壌調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設整備基本設計</li> <li>・ 事業方式の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活環境影響調査等</li> </ul>
(6) 事業計画額 (千円)	第3次計画期間 (3,791千円)	第3次計画期間 (23,616千円)	第4次計画期間 (36,856千円)

## 別添資料

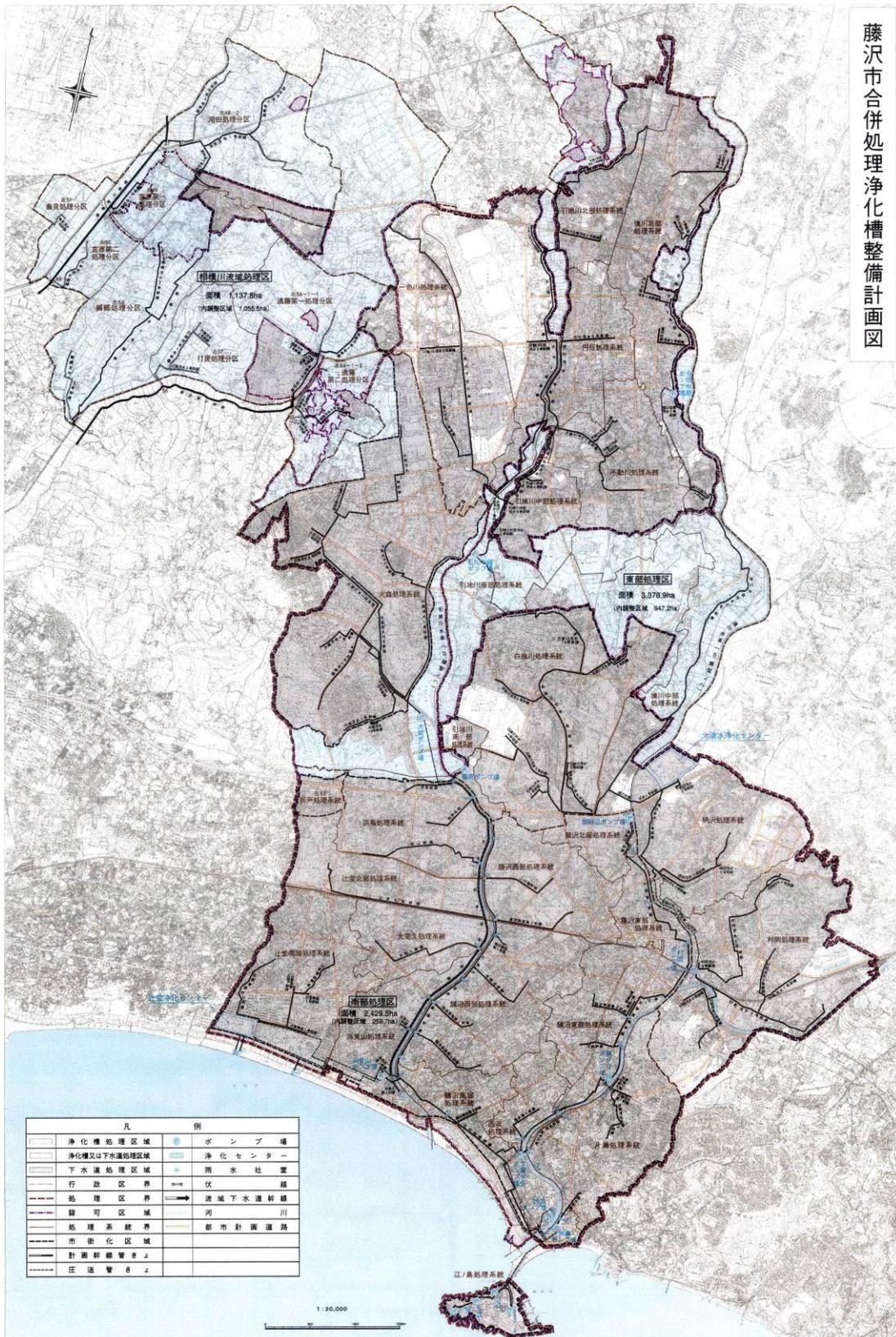
- 別添図-1 湘南東地域内施設立地状況
- 別添図-2 藤沢市合併浄化槽整備計画図
- 別添図-3 茅ヶ崎市合併浄化槽整備計画図
- 別添資料-1 人口の実績及び予測（様式1 関連資料）
- 別添資料-2 ごみ量の実績と予測（様式1 関連資料）
- 別添資料-3 生活排水処理の実績と予測（様式1 関連資料）
- 別添資料-4 浄化槽整備実績及び計画（様式1 関連資料）
- 別添資料-5 平成23年度における湘南東地域のごみの分別区分  
（地域計画 処理体制関連資料）
- 別添資料-6 現有処理施設の概要（様式1 関連資料）
- 別添資料-7 基金制度の概要（地域計画 施策関連資料）
- 別添資料-8 ごみ処理広域化の取組み
- 別添資料-9 湘南東地域施設整備スケジュール



凡 例	
—	市町村界
● (Red)	焼却施設
● (Blue)	粗大ごみ等処理施設
● (Green)	資源ごみ処理施設
● (Purple)	最終処分施設
▲ (Orange)	し尿処理施設

別添図-1 湘南東地域内施設立地状況

藤沢市合併処理浄化槽整備計画図



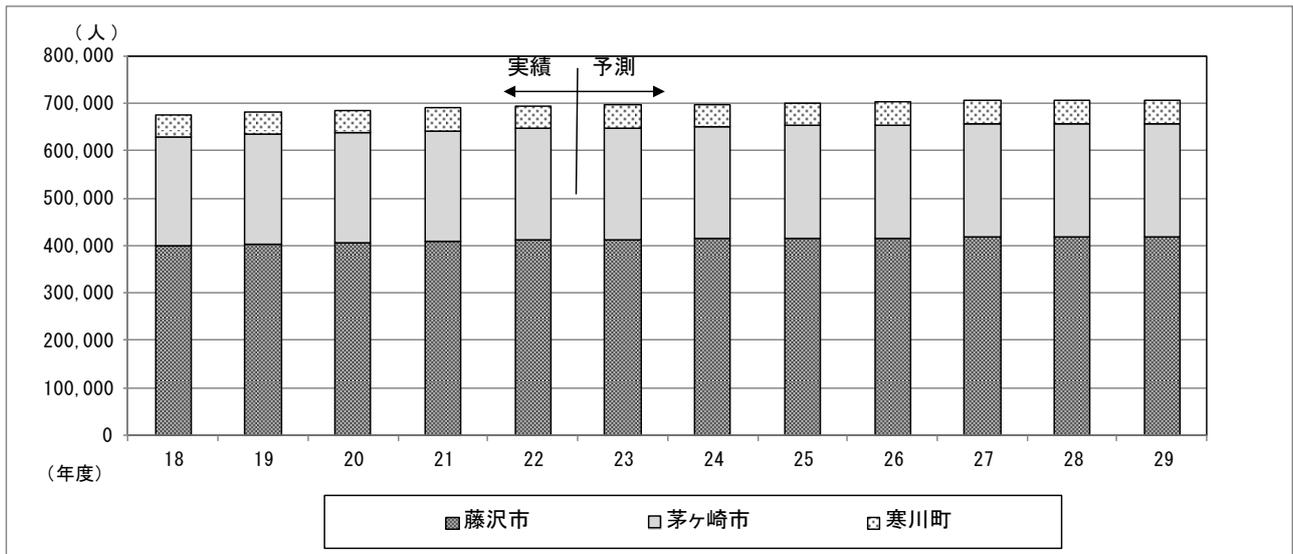
別添図-2 藤沢市合併処理浄化槽整備計画図



別添図-3 茅ヶ崎市合併処理浄化槽整備計画図

別添資料-1 人口の実績及び予測（様式1 関連資料）

図表 人口の年度別推移



年度	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	湘南東ブロック
平成13	382,837	222,459	46,414	651,710
14	387,746	224,469	46,628	658,843
15	390,968	226,106	46,809	663,883
16	392,810	227,659	47,166	667,635
17	396,014	228,420	47,457	671,891
18	398,481	228,879	47,456	674,816
19	402,096	230,565	47,587	680,248
20	405,243	232,237	47,641	685,121
21	407,287	234,114	47,773	689,174
22	409,734	235,140	47,671	692,545
23	411,042	236,032	48,286	695,360
24	412,350	236,924	48,293	697,567
25	413,658	237,816	48,300	699,774
26	414,966	238,708	48,307	701,981
27	416,278	239,600	48,315	704,193
28	416,372	239,866	48,194	704,432
29	416,466	240,132	48,073	704,671
30	416,560	240,398	47,951	704,909
31	416,654	240,664	47,830	705,148
32	416,748	240,934	47,709	705,391
33	415,799	240,633	47,588	704,020
34	414,850	240,332	47,467	702,649
推計根拠	「人口推計報告書」 (資料：藤沢市 経営企画課 平成20年度調査)による。	「茅ヶ崎市の人口について」(平成19年7月)による。	平成23から32までは寒川町企画政策部推計値(平成23年)による。	

別添資料-2 ごみ量の実績と予測 (様式1 関連資料)

(1) 湘南東地域

項目		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
人口		674,816	680,248	685,121	689,174	692,545	695,360	697,567	699,774	701,981	704,193	704,432	704,671	
	総排出量	t/年	248,348	237,614	226,175	221,978	221,872	224,188	223,786	223,780	223,345	223,516	222,556	221,023
家庭系	総排出量(計画収集量+集団回収)	t/年	198,604	187,691	179,463	177,340	177,208	178,937	178,871	179,294	179,717	180,635	180,060	179,979
	集団回収量	t/年	26,185	26,723	24,037	23,274	23,342	23,739	23,727	23,780	23,833	23,952	23,870	24,976
	資源	t/年	48,401	49,453	47,559	46,558	46,609	48,269	50,836	52,292	53,631	55,128	55,950	58,084
	計画収集量	t/年	172,419	160,968	155,426	154,066	153,865	155,198	155,144	155,514	155,884	156,883	156,191	155,003
	資源除く排出量	t/年	150,203	138,238	131,904	130,782	130,598	130,668	128,035	127,002	126,086	125,507	124,110	121,895
	総排出量(計画収集量+集団回収)	kg/人	294	276	262	257	256	257	256	256	256	257	256	255
	集団回収量	kg/人	39	39	35	34	34	34	34	34	34	34	34	35
	計画収集量	kg/人	256	237	227	224	222	223	222	222	222	223	222	220
	資源除く排出量	kg/人	223	203	193	190	189	188	184	181	180	178	176	173
事業系	総排出量	t/年	49,744	49,923	46,712	44,638	44,664	45,251	44,914	44,486	43,628	42,881	42,496	41,044
	資源除く排出量	t/年	49,191	49,733	46,438	44,295	44,224	44,803	44,469	44,044	43,192	42,450	42,069	40,627
	総排出量	kg/人	74	73	68	65	64	65.1	64.4	63.6	62.1	60.9	60.3	58.2
	資源除く排出量	kg/人	73	73	68	64	64	64.4	63.7	62.9	61.5	60.3	59.7	57.7
	1事業所当たりの排出量	t/年	2.3	2.4	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0
家庭系+事業系	総排出量	g/人日	1,008	954	904	882	878	881	879	876	872	867	866	859
家庭系	資源除く排出量	g/人日	610	555	527	520	517	513	503	497	492	487	483	474
事業系	資源除く排出量	g/人日	200	200	186	176	175	176	175	172	169	165	164	158
総排出量(①+⑩)			248,348	237,614	226,175	221,978	221,872	224,188	223,786	223,780	223,345	223,516	222,556	221,023
①	計画処理量=②+③+④+⑤=排出量	t/年	222,163	210,891	202,138	198,704	198,530	200,449	200,058	200,000	199,512	199,564	198,687	196,047
②	直接資源化量	t/年	13,135	13,457	11,986	11,746	11,839	12,229	12,673	13,155	13,640	14,165	14,576	15,036
③	中間処理量	t/年	208,839	197,186	189,963	186,832	186,533	188,073	187,241	186,702	185,730	185,257	183,969	180,870
④	その他処理量(直接資源化に含まれる)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤	直接最終処分量	t/年	189	248	189	126	158	147	144	143	142	143	142	141
	直接埋立て	t/年	189	248	189	126	158	147	144	143	142	143	142	141
	撤出-埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥	処理後再生利用	t/年	29,882	28,422	28,206	27,756	27,489	28,115	30,117	30,150	30,822	31,581	31,950	30,797
	溶融-資源化	t/年	11,941	12,050	12,801	12,412	12,547	13,325	13,276	12,438	12,369	12,330	12,275	10,662
	圧縮後等資源化(圧縮選別等)	t/年	15,784	15,092	14,212	14,201	14,105	14,745	16,796	17,644	18,385	19,184	19,608	20,099
	焼却残渣からの金属回収他資源化	t/年	2,158	1,280	1,193	1,142	838	46	45	68	67	67	67	35
⑦	処理残渣量=⑥+⑨	t/年	42,207	40,605	39,494	39,041	38,657	39,119	40,729	40,542	41,025	41,624	41,783	40,444
⑧	減量化量=③-⑦	t/年	166,631	156,581	150,469	147,790	147,876	148,954	146,512	146,160	144,705	143,633	142,186	140,427
⑨	処理後最終処分量	t/年	12,325	12,182	11,289	11,286	11,168	11,004	10,612	10,393	10,203	10,043	9,832	9,646
	処理困難物	t/年	825	818	813	793	807	791	764	740	717	695	669	644
	焼却残渣-埋立て	t/年	7,895	8,036	7,809	7,995	7,201	7,117	6,825	6,675	6,553	6,451	6,321	6,206
	焼却残渣からの不燃埋立て	t/年	326	98	41	32	82	0	0	0	0	0	0	0
	焼却残渣-撤出-埋立て	t/年	3,280	3,230	2,626	2,466	3,077	3,097	3,023	2,978	2,933	2,897	2,843	2,797
⑩	総資源化量	t/年	66,677	66,415	64,228	62,776	62,670	64,085	66,519	67,086	68,296	69,698	70,397	70,809
	集団回収量	t/年	26,185	26,723	24,037	23,274	23,342	23,739	23,727	23,780	23,833	23,952	23,870	24,976
	最終処分量	t/年	12,514	12,430	11,478	11,411	11,326	11,151	10,756	10,535	10,346	10,186	9,974	9,787
	直接資源化率	%	5.9%	6.4%	5.9%	5.9%	6.0%	6.1%	6.3%	6.6%	6.8%	7.1%	7.3%	7.7%
	総資源化率	%	26.8%	28.0%	28.4%	28.3%	28.2%	28.6%	29.7%	30.0%	30.6%	31.2%	31.6%	32.0%
	減量化率	%	95.0%	94.8%	94.9%	94.9%	94.9%	95.0%	95.2%	95.3%	95.4%	95.4%	95.5%	95.6%
	最終処分率	%	5.0%	5.2%	5.1%	5.1%	5.1%	5.0%	4.8%	4.7%	4.6%	4.5%	4.4%	
事業所数	箇所	21,114	20,908	20,702	20,496	20,290	20,084	20,084	20,084	20,084	20,084	20,084	20,084	20,084

注) 減量化率 = 1 - (最終処分率)

(2) 藤沢市

項目		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
人口		398,481	402,096	405,243	407,287	409,734	411,042	412,350	413,658	414,966	416,278	416,372	416,466	
総排出量		t/年	150,641	140,530	133,349	130,646	131,405	132,827	132,551	132,490	132,132	132,133	131,705	130,454
家庭系		t/年	117,091	106,952	101,371	100,515	100,802	101,985	101,940	102,174	102,408	102,924	102,577	102,510
総排出量(計画収集量+集団回収)		t/年	117,091	106,952	101,371	100,515	100,802	101,985	101,940	102,174	102,408	102,924	102,577	102,510
集団回収量		t/年	23,659	24,535	24,037	23,274	23,342	23,739	23,727	23,780	23,833	23,952	23,870	24,976
資源		t/年	31,408	32,519	32,133	31,400	31,360	32,061	32,416	32,781	33,024	33,359	33,414	34,684
計画収集量		t/年	93,432	82,417	77,334	77,241	77,460	78,246	78,213	78,394	78,575	78,973	78,707	77,534
資源除く排出量		t/年	85,683	74,433	69,238	69,115	69,442	69,923	69,524	69,394	69,385	69,566	69,162	67,826
事業系		t/年	33,550	33,578	31,978	30,131	30,602	30,842	30,611	30,316	29,724	29,209	29,128	27,944
総排出量		t/年	33,550	33,578	31,978	30,131	30,602	30,842	30,611	30,316	29,724	29,209	29,128	27,944
資源除く排出量		t/年	33,162	33,529	31,880	30,009	30,408	30,646	30,417	30,124	29,536	29,024	28,944	27,768
総排出量		kg/人	84	84	79	74	75	75.0	74.2	73.3	71.6	70.2	70.0	67.1
資源除く排出量		kg/人	83	83	79	74	74	74.6	73.8	72.8	71.2	69.7	69.5	66.7
1事業所当たりの排出量		t/年	2.6	2.6	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3
家庭系+事業系		g/人日	1,036	955	902	879	879	883	881	878	872	867	867	858
総排出量		g/人日	589	506	468	465	464	465	462	460	458	457	455	446
資源除く排出量		g/人日	228	228	216	202	203	204	202	200	195	190	190	183
総排出量(①+⑩)			150,641	140,530	133,349	130,646	131,405	132,827	132,551	132,490	132,132	132,133	131,705	130,454
①	計画処理量=②+③+④+⑤=排出量	t/年	126,982	115,995	109,312	107,372	108,062	109,088	108,824	108,710	108,299	108,181	107,835	105,478
②	直接資源化量	t/年	1,131	1,320	1,274	1,269	1,274	1,331	1,372	1,417	1,461	1,511	1,547	1,588
③	中間処理量	t/年	125,662	114,427	107,849	105,977	106,630	107,610	107,307	107,151	106,695	106,528	106,147	103,749
④	その他処理量(直接資源化に含まれる)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤	直接最終処分量	t/年	189	248	189	126	158	147	144	143	142	143	142	141
直接埋立て		t/年	189	248	189	126	158	147	144	143	142	143	142	141
搬出-埋立て		t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥	処理後再生利用	t/年	23,354	21,779	21,634	21,253	21,053	21,104	21,324	20,706	20,776	20,903	20,938	19,402
溶融-資源化		t/年	11,244	11,254	11,844	11,454	11,647	12,350	12,276	11,388	11,319	11,280	11,225	9,612
圧縮後等資源化(圧縮選別等)		t/年	9,953	9,245	8,597	8,656	8,568	8,708	9,003	9,250	9,390	9,555	9,646	9,755
焼却残渣からの金属回収他資源化		t/年	2,158	1,280	1,193	1,142	838	46	45	68	67	67	67	35
⑦	処理残渣量=⑥+⑨	t/年	23,785	22,026	21,781	21,399	21,240	21,202	21,420	20,801	20,871	20,998	21,033	19,496
⑧	減量化量=③-⑦	t/年	101,876	92,401	86,068	84,577	85,390	86,408	85,887	86,349	85,824	85,530	85,114	84,253
⑨	処理後最終処分量	t/年	431	246	148	147	188	98	96	95	95	95	95	94
処理困難物		t/年	106	148	107	115	105	98	96	95	95	95	95	94
焼却残渣-埋立て		t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣からの不燃埋立て		t/年	326	98	41	32	82	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣-搬出-埋立て		t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総資源化量		t/年	48,145	47,635	46,944	45,796	45,669	46,173	46,423	45,903	46,070	46,365	46,355	45,966
集団回収量		t/年	23,659	24,535	24,037	23,274	23,342	23,739	23,727	23,780	23,833	23,952	23,870	24,976
最終処分量		t/年	620	494	337	272	345	245	241	238	238	238	236	235
直接資源化率		%	0.8%	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%	1.4%	1.5%
総資源化率		%	32.0%	33.9%	35.2%	35.1%	34.8%	34.8%	35.0%	34.6%	34.9%	35.1%	35.2%	35.2%
減量化率		%	99.6%	99.6%	99.7%	99.8%	99.7%	99.8%	99.8%	99.8%	99.8%	99.8%	99.8%	99.8%
最終処分率		%	0.4%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
事業所数		箇所	12,894	12,756	12,618	12,480	12,342	12,203	12,203	12,203	12,203	12,203	12,203	12,203

注) 減量化率 = 1 - (最終処分率)

(3) 茅ヶ崎市

項目		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人口		228,879	230,565	232,237	234,114	235,140	236,032	236,924	237,816	238,708	239,600	239,866	240,132
総排出量		t/年	81,738	81,408	77,261	76,185	75,670	76,212	76,149	76,242	76,231	76,427	75,850
家庭系		t/年	69,641	68,382	65,947	64,905	64,656	65,030	65,049	65,245	65,441	65,817	65,662
総排出量(計画収集量+集団回収)		t/年	69,641	68,382	65,947	64,905	64,656	65,030	65,049	65,245	65,441	65,817	65,662
集団回収量		t/年	2,526	2,188	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源		t/年	13,697	13,792	12,391	12,006	12,144	12,956	15,078	16,069	17,066	18,118	18,805
計画収集量		t/年	67,115	66,194	65,947	64,905	64,656	65,030	65,049	65,245	65,441	65,817	65,662
資源除く排出量		t/年	55,944	54,590	53,556	52,899	52,512	52,074	49,971	49,176	48,375	47,699	46,857
総排出量(計画収集量+集団回収)		kg/人	304	297	284	277	275	276	275	274	274	275	274
集団回収量		kg/人	11	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画収集量		kg/人	293	287	284	277	275	276	275	274	274	275	274
資源除く排出量		kg/人	244	237	231	226	223	221	211	207	203	199	192
事業系		t/年	12,097	13,026	11,314	11,280	11,014	11,182	11,100	10,997	10,790	10,610	10,373
総排出量		t/年	12,097	13,026	11,314	11,280	11,014	11,182	11,100	10,997	10,790	10,610	10,373
資源除く排出量		t/年	11,933	12,886	11,139	11,059	10,766	10,930	10,849	10,747	10,542	10,364	10,130
総排出量		kg/人	53	56	49	48	47	47.4	46.9	46.2	45.2	44.3	42.3
資源除く排出量		kg/人	52	56	48	47	46	46.3	45.8	45.2	44.2	43.3	41.3
1事業所当たりの排出量		t/年	1.9	2.1	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7
家庭系+事業系		g/人日	978	965	911	892	882	882	881	878	875	872	868
家庭系		g/人日	670	647	632	619	612	603	578	567	555	544	535
事業系		g/人日	143	153	131	129	125	127	125	124	121	118	113
総排出量(①+⑩)			81,738	81,408	77,261	76,185	75,670	76,212	76,149	76,242	76,231	76,427	75,850
①	計画処理量=②+③+④+⑤=排出量	t/年	79,212	79,220	77,261	76,185	75,670	76,212	76,149	76,242	76,231	76,427	75,850
②	直接資源化量	t/年	9,903	10,141	8,835	8,433	8,550	8,807	9,169	9,560	9,952	10,374	11,093
③	中間処理量	t/年	69,309	69,079	68,426	67,752	67,120	67,405	66,980	66,682	66,279	66,053	65,320
④	その他処理量(直接資源化に含まれる)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	直接最終処分量	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直接埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬出-埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥	処理後再生利用	t/年	5,077	5,260	5,187	5,187	5,156	5,661	7,400	8,004	8,560	9,142	9,438
	熔融-資源化	t/年	697	796	957	958	900	975	1,000	1,050	1,050	1,050	1,050
	圧縮後等資源化(圧縮選別等)	t/年	4,380	4,464	4,230	4,229	4,256	4,686	6,400	6,954	7,510	8,092	8,388
	焼却残渣からの金属回収他資源化	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	処理残渣量=⑥+⑨	t/年	14,352	14,751	14,028	14,614	13,881	14,087	15,480	15,906	16,318	16,779	16,921
⑧	減量化量=③-⑦	t/年	54,957	54,328	54,398	53,138	53,439	53,318	51,500	50,776	49,961	49,274	48,399
⑨	処理後最終処分量	t/年	9,275	9,491	8,841	9,427	8,525	8,425	8,080	7,902	7,758	7,637	7,483
	処理困難物	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼却残渣-埋立て	t/年	7,895	8,036	7,809	7,995	7,201	7,117	6,825	6,675	6,553	6,451	6,321
	焼却残渣からの不燃埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼却残渣-搬出-埋立て	t/年	1,380	1,455	1,032	1,432	1,324	1,308	1,255	1,227	1,205	1,186	1,162
⑩	総資源化量	t/年	14,980	15,401	14,022	13,620	13,706	14,471	16,571	17,565	18,513	19,517	20,154
	集団回収量	t/年	2,526	2,188	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最終処分量	t/年	9,275	9,491	8,841	9,427	8,525	8,425	8,080	7,902	7,758	7,637	7,483
	直接資源化率	%	12.5%	12.8%	11.4%	11.1%	11.3%	11.6%	12.0%	12.5%	13.1%	13.6%	14.1%
	総資源化率	%	18.3%	18.9%	18.1%	17.9%	18.1%	19.0%	21.8%	23.0%	24.3%	25.5%	27.5%
	減量化率	%	88.7%	88.3%	88.6%	87.6%	88.7%	88.9%	89.4%	89.6%	89.8%	90.0%	90.3%
	最終処分率	%	11.3%	11.7%	11.4%	12.4%	11.3%	11.1%	10.6%	10.4%	10.2%	10.0%	9.7%
事業所数		箇所	6,287	6,231	6,175	6,119	6,063	6,006	6,006	6,006	6,006	6,006	6,006

注) 減量化率 = 1 - (最終処分率)

(4) 寒川町

項目	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
人口	47,456	47,587	47,641	47,773	47,671	48,286	48,293	48,300	48,307	48,315	48,194	48,073		
総排出量	t/年	15,969	15,676	15,565	15,147	14,798	15,150	15,086	15,049	14,982	14,956	14,719		
家庭系	総排出量(計画収集量+集団回収)	t/年	11,872	12,357	12,145	11,920	11,749	11,922	11,882	11,875	11,868	11,893	11,822	11,783
	集団回収量	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資源	t/年	3,296	3,142	3,035	3,152	3,105	3,251	3,342	3,442	3,542	3,652	3,731	3,820
	計画収集量	t/年	11,872	12,357	12,145	11,920	11,749	11,922	11,882	11,875	11,868	11,893	11,822	11,783
	資源除く排出量	t/年	8,576	9,215	9,110	8,768	8,644	8,671	8,540	8,433	8,326	8,242	8,091	7,963
	総排出量(計画収集量+集団回収)	kg/人	250	260	255	250	246	247	246	246	246	245	245	
	集団回収量	kg/人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計画収集量	kg/人	250	260	255	250	246	247	246	246	246	245	245	
	資源除く排出量	kg/人	181	194	191	184	181	180	177	175	172	171	168	166
事業系	総排出量	t/年	4,097	3,319	3,420	3,227	3,049	3,227	3,204	3,174	3,114	3,062	2,995	2,936
	資源除く排出量	t/年	4,097	3,318	3,419	3,228	3,050	3,227	3,204	3,174	3,114	3,062	2,995	2,936
	総排出量	kg/人	86	70	72	68	64	66.8	66.3	65.7	64.5	63.4	62.1	61.1
	資源除く排出量	kg/人	86	70	72	68	64	66.8	66.3	65.7	64.5	63.4	62.1	61.1
	1事業所当たりの排出量	t/年	2.1	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	
家庭系+事業系	総排出量	g/人日	922	900	895	869	850	857	856	854	850	846	842	839
	資源除く排出量	g/人日	495	529	524	503	497	491	484	478	472	466	460	454
事業系	資源除く排出量	g/人日	237	191	197	185	175	183	182	180	177	173	170	167
総排出量(①+⑩)		15,969	15,676	15,565	15,147	14,798	15,150	15,086	15,049	14,982	14,956	14,719		
①	計画処理量=②+③+④+⑤=排出量	t/年	15,969	15,676	15,565	15,147	14,798	15,150	15,086	15,049	14,982	14,956	14,719	
②	直接資源化量	t/年	2,101	1,996	1,877	2,044	2,015	2,090	2,132	2,179	2,226	2,280	2,314	2,355
③	中間処理量	t/年	13,868	13,680	13,688	13,103	12,783	13,059	12,954	12,870	12,755	12,676	12,503	12,364
④	その他処理量(直接資源化に含まれる)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤	直接最終処分量	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	直接埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	搬出-埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥	処理後再生利用	t/年	1,451	1,383	1,385	1,316	1,281	1,350	1,393	1,439	1,486	1,536	1,574	1,616
	溶融-資源化	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	圧縮後等資源化(圧縮選別等)	t/年	1,451	1,383	1,385	1,316	1,281	1,350	1,393	1,439	1,486	1,536	1,574	1,616
	焼却残渣からの金属回収他資源化	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑦	処理残渣量=⑥+⑨	t/年	4,070	3,828	3,685	3,028	3,736	3,831	3,829	3,835	3,836	3,847	3,829	3,821
⑧	減量化量=③-⑦	t/年	9,798	9,852	10,003	10,075	9,047	9,228	9,125	9,035	8,920	8,829	8,674	8,543
⑨	処理後最終処分量	t/年	2,619	2,445	2,300	1,712	2,455	2,481	2,436	2,396	2,350	2,311	2,255	2,205
	処理困難物	t/年	719	670	706	678	702	693	668	645	622	600	574	550
	焼却残渣-埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼却残渣からの不燃埋立て	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	焼却残渣-搬出-埋立て	t/年	1,900	1,775	1,594	1,034	1,753	1,788	1,768	1,751	1,729	1,711	1,681	1,656
⑩	総資源化量	t/年	3,552	3,379	3,262	3,360	3,296	3,441	3,525	3,618	3,712	3,816	3,888	3,970
	集団回収量	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最終処分量	t/年	2,619	2,445	2,300	1,712	2,455	2,481	2,436	2,396	2,350	2,311	2,255	2,205
	直接資源化率	%	13.2%	12.7%	12.1%	13.5%	13.6%	13.8%	14.1%	14.5%	14.9%	15.2%	15.6%	16.0%
	総資源化率	%	22.2%	21.6%	21.0%	22.2%	22.3%	22.7%	23.4%	24.0%	24.8%	25.5%	26.2%	27.0%
	減量化率	%	83.6%	84.4%	85.2%	88.7%	83.4%	83.6%	83.9%	84.1%	84.3%	84.5%	84.8%	85.0%
	最終処分率	%	16.4%	15.6%	14.8%	11.3%	16.6%	16.4%	16.1%	15.9%	15.7%	15.5%	15.2%	15.0%
事業所数	箇所	1,933	1,921	1,909	1,897	1,885	1,875	1,875	1,875	1,875	1,875	1,875	1,875	

注) 減量化率 = 1 - (最終処分率)

(5) ごみ排出量関連図

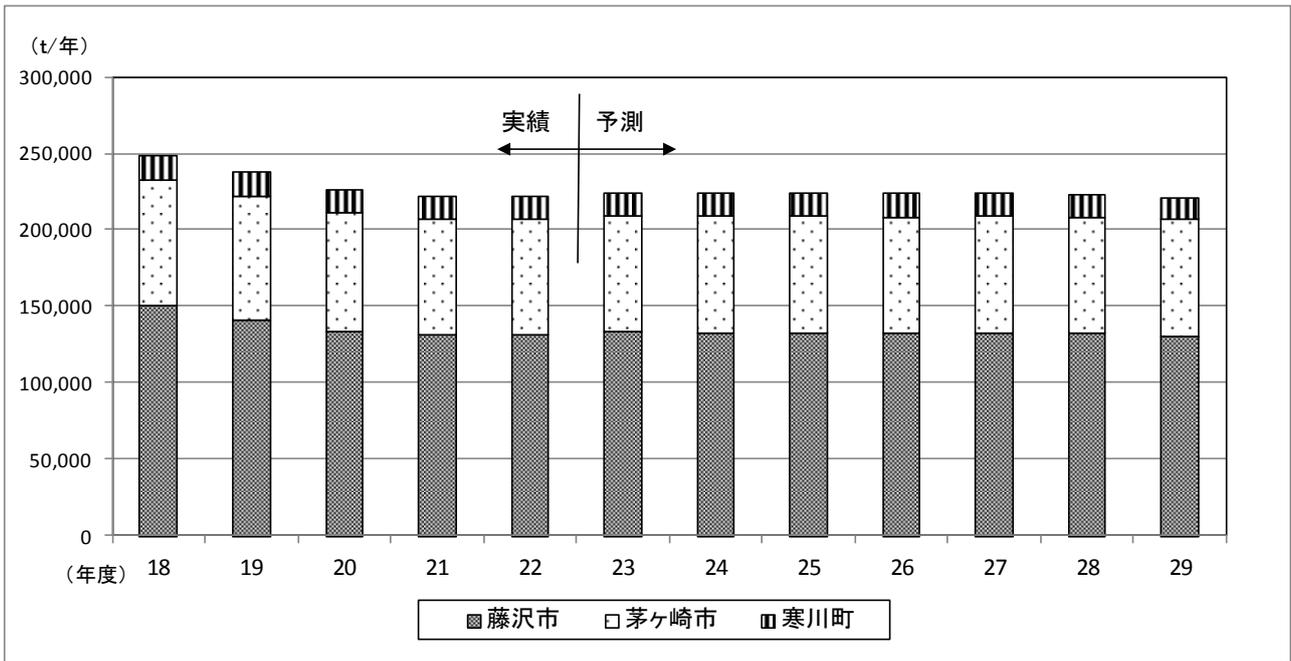


図1 ごみ量の予測 (総排出量)

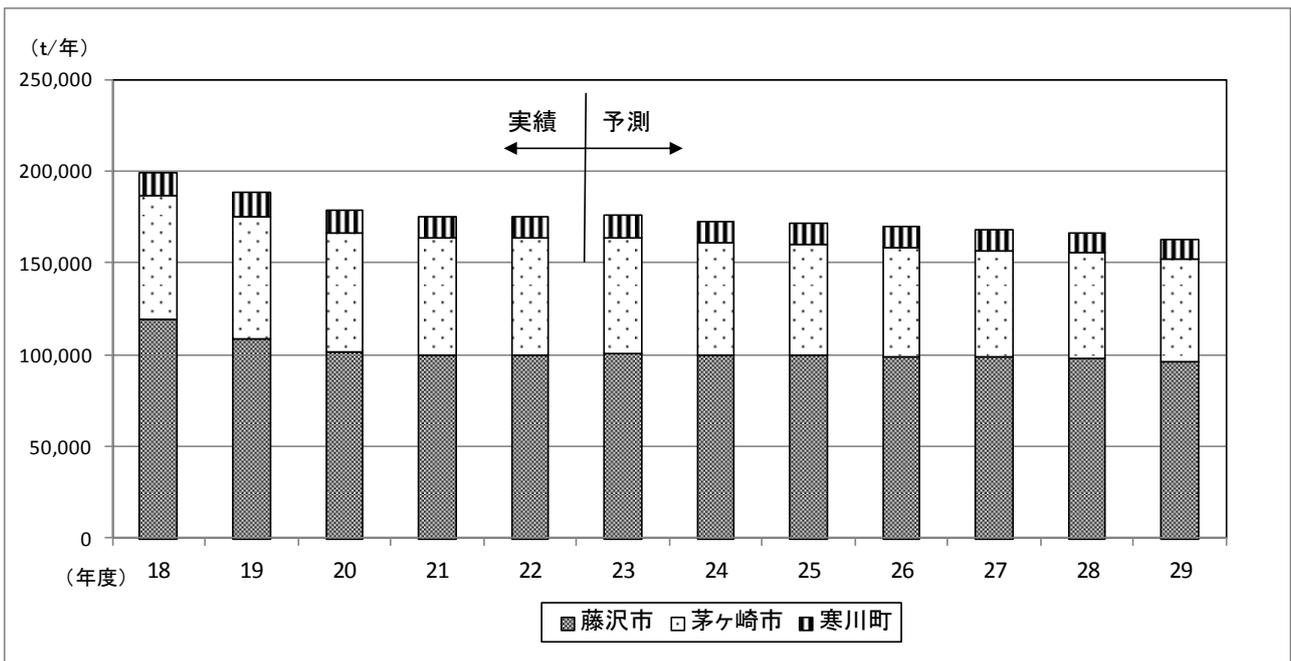


図2 資源を除くごみ量の予測

(6) 排出原単位関連図

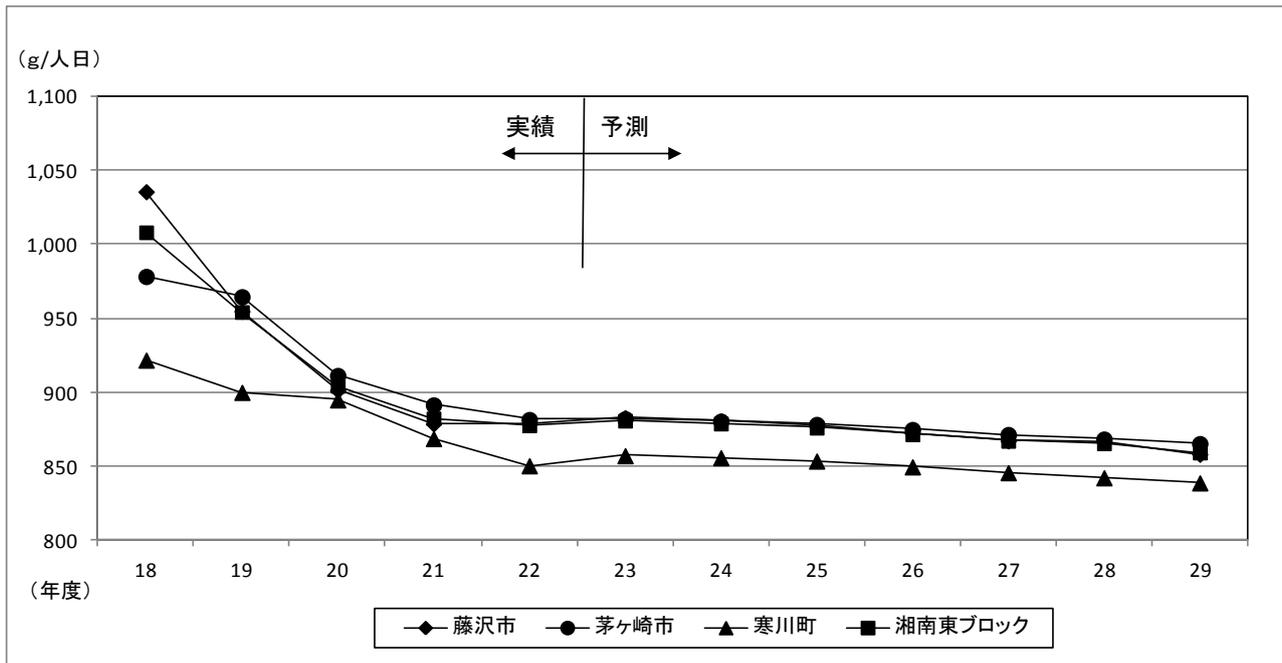


図3 原単位の予測（総排出量）

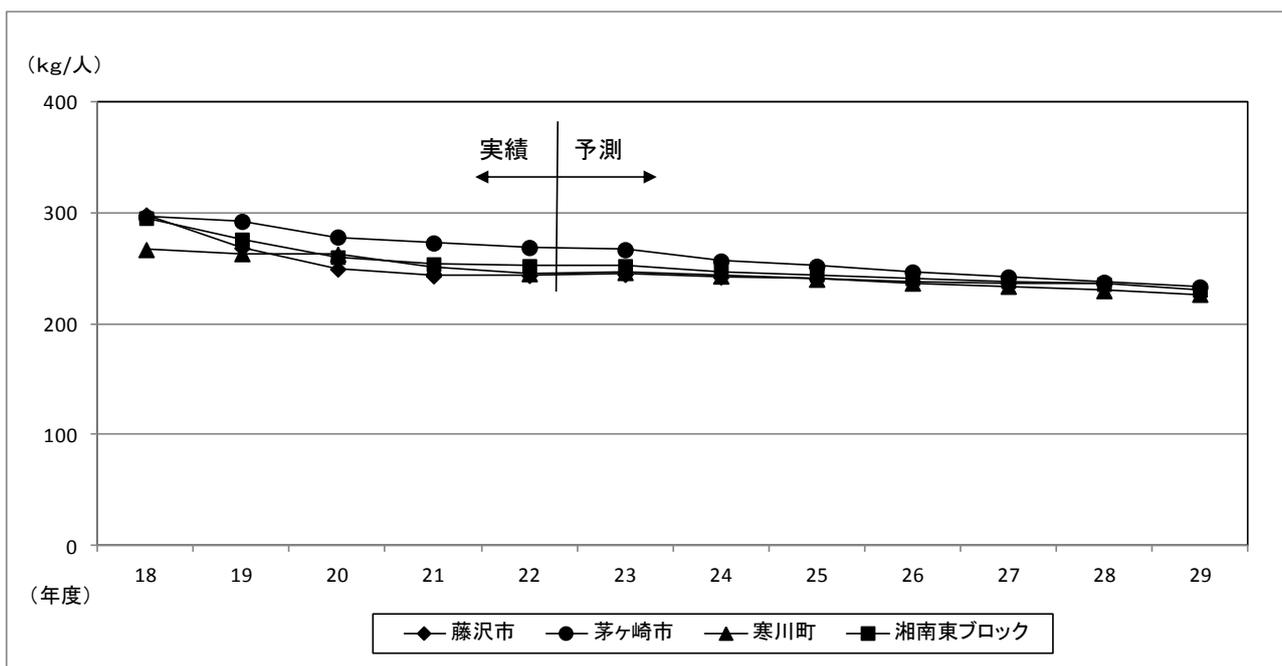


図4 原単位の予測（資源を除くごみ量）

(7) 資源化率関連図

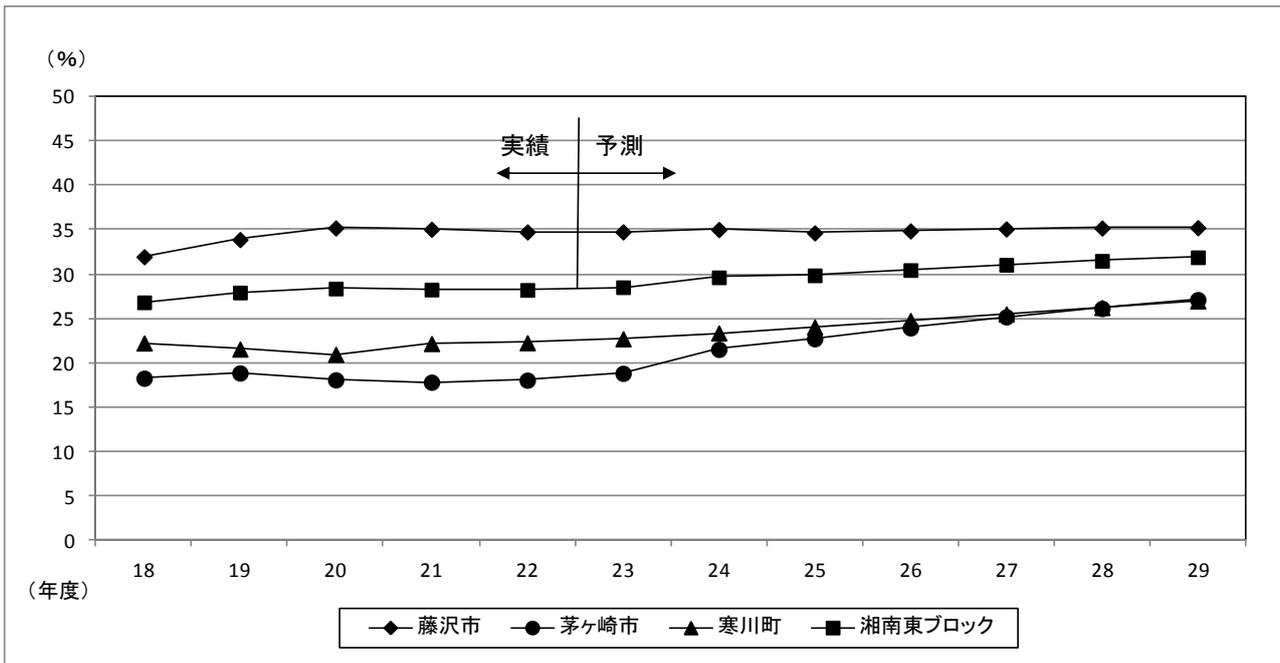


図5 資源化率の予測

(8) 最終処分量関連図

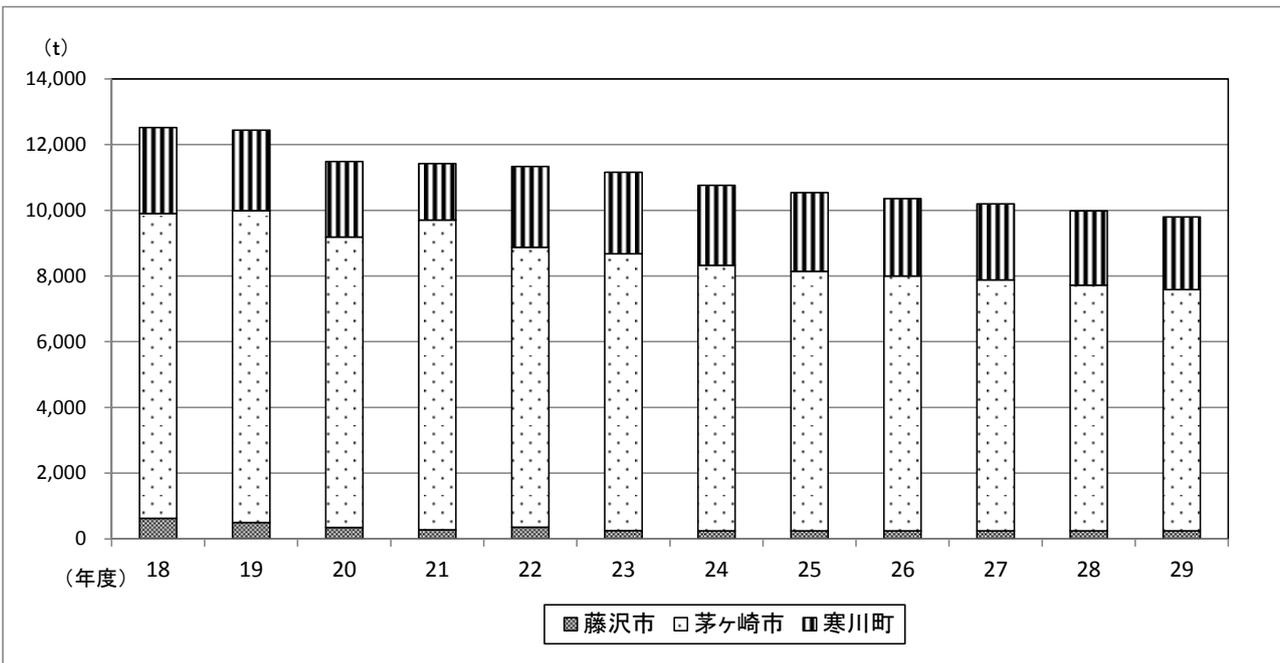


図6 最終処分量の予測

別添資料-3 生活排水処理の実績と予測 (様式1 関連資料)

(1) 湘南東地域

項目\年度	単位	実績					予測						
		平成18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1.計画処理区域内人口	人	674,816	680,130	684,960	688,984	692,303	695,360	697,567	699,774	701,981	704,193	704,432	704,671
2.水洗化・生活雑排水処理人口	人	615,923	623,719	632,716	638,473	645,800	651,483	656,546	661,612	666,688	671,772	674,238	676,717
(1)公共下水道	人	605,742	614,100	622,041	627,945	635,404	639,697	644,237	648,788	653,354	657,933	660,655	663,392
(2)集落排水施設等	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)合併処理浄化槽	人	10,181	9,619	10,675	10,528	10,396	11,786	12,309	12,824	13,334	13,839	13,583	13,325
(4)コミュニティプラント	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.水洗化・生活雑排水未処理人口(単独浄化槽人口)	人	52,215	50,529	46,722	45,522	42,070	39,737	37,172	34,591	31,992	29,381	27,406	25,414
4.非水洗化人口	人	6,678	5,882	5,522	4,989	4,433	4,140	3,849	3,571	3,302	3,041	2,787	2,540
5.自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水の適正処理率	%	91.3%	91.7%	92.4%	92.7%	93.3%	93.7%	94.1%	94.5%	95.0%	95.4%	95.7%	96.0%
公共下水道人口の割合	%	89.8%	90.3%	90.8%	91.1%	91.8%	92.0%	92.4%	92.7%	93.1%	93.4%	93.8%	94.1%
合併処理浄化槽人口の割合	%	1.5%	1.4%	1.6%	1.5%	1.5%	1.7%	1.8%	1.8%	1.9%	2.0%	1.9%	1.9%
汚水未処理人口	人	58,893	56,411	52,244	50,511	46,503	43,877	41,021	38,162	35,293	32,421	30,194	27,954
汚水未処理人口割合	%	8.7%	8.3%	7.6%	7.3%	6.7%	6.3%	5.9%	5.5%	5.0%	4.6%	4.3%	4.0%

(2) 藤沢市

項目\年度	単位	実績					予測						
		平成18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1.計画処理区域内人口	人	398,481	402,096	405,243	407,287	409,734	411,042	412,350	413,658	414,966	416,278	416,372	416,466
2.水洗化・生活雑排水処理人口	人	382,909	387,616	371,849	375,794	381,201	384,016	387,060	390,108	393,165	396,230	397,432	398,646
(1)公共下水道	人	360,406	364,950	369,019	372,861	378,165	380,871	383,824	386,788	389,767	392,759	393,894	395,044
(2)集落排水施設等	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)合併処理浄化槽	人	2,503	2,666	2,830	2,933	3,036	3,145	3,236	3,320	3,398	3,471	3,538	3,602
(4)コミュニティプラント	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.水洗化・生活雑排水未処理人口(単独浄化槽人口)	人	32,472	31,797	30,773	29,085	26,331	24,969	23,376	21,766	20,138	18,498	17,495	16,474
4.非水洗化人口	人	3,100	2,683	2,621	2,408	2,202	2,057	1,914	1,784	1,663	1,550	1,445	1,346
5.自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水の適正処理率	%	91.1%	91.4%	91.8%	92.3%	93.0%	93.4%	93.9%	94.3%	94.7%	95.2%	95.5%	95.7%
公共下水道人口の割合	%	90.4%	90.8%	91.1%	91.5%	92.3%	92.7%	93.1%	93.5%	93.9%	94.4%	94.6%	94.9%
合併処理浄化槽人口の割合	%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%
汚水未処理人口	人	35,572	34,480	33,394	31,493	28,533	27,026	25,290	23,550	21,801	20,048	18,940	17,820
汚水未処理人口割合	%	8.9%	8.6%	8.2%	7.7%	7.0%	6.6%	6.1%	5.7%	5.3%	4.8%	4.5%	4.3%

(3) 茅ヶ崎市

項目\年度	単位	実績					予測						
		平成18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1.計画処理区域内人口	人	228,879	230,565	232,237	234,114	235,140	236,032	236,924	237,816	238,708	239,600	239,866	240,132
2.水洗化・生活雑排水処理人口	人	211,001	213,603	217,346	219,183	220,834	222,479	224,124	225,769	227,414	229,059	230,078	231,097
(1)公共下水道	人	205,914	209,088	212,626	214,333	216,287	217,207	218,127	219,047	219,967	220,887	221,807	222,727
(2)集落排水施設等	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)合併処理浄化槽	人	5,087	4,515	4,720	4,850	4,547	5,272	5,997	6,722	7,447	8,172	8,271	8,370
(4)コミュニティプラント	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.水洗化・生活雑排水未処理人口(単独浄化槽人口)	人	15,471	14,863	12,949	13,279	12,726	12,056	11,386	10,716	10,046	9,376	8,706	8,036
4.非水洗化人口	人	2,407	2,099	1,942	1,652	1,580	1,497	1,414	1,331	1,248	1,165	1,082	999
5.自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水の適正処理率	%	92.2%	92.6%	93.6%	93.6%	93.9%	94.3%	94.6%	94.9%	95.3%	95.6%	95.9%	96.2%
公共下水道人口の割合	%	90.0%	90.7%	91.6%	91.6%	92.0%	92.0%	92.1%	92.1%	92.1%	92.2%	92.5%	92.8%
合併処理浄化槽人口の割合	%	2.2%	2.0%	2.0%	2.1%	1.9%	2.2%	2.5%	2.8%	3.1%	3.4%	3.4%	3.5%
汚水未処理人口	人	17,878	16,962	14,891	14,931	14,306	13,553	12,800	12,047	11,294	10,541	9,788	9,035
汚水未処理人口割合	%	7.8%	7.4%	6.4%	6.4%	6.1%	5.7%	5.4%	5.1%	4.7%	4.4%	4.1%	3.8%

(4) 寒川町

項目\年度	単位	実績					予測						
		平成18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1.計画処理区域内人口	人	47,456	47,469	47,480	47,583	47,429	48,286	48,293	48,300	48,307	48,315	48,194	48,073
2.水洗化・生活雑排水処理人口	人	42,013	42,500	43,521	43,496	43,765	44,988	45,362	45,735	46,109	46,483	46,728	46,974
(1)公共下水道	人	39,422	40,062	40,396	40,751	40,952	41,619	42,286	42,953	43,620	44,287	44,954	45,621
(2)集落排水施設等	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)合併処理浄化槽	人	2,591	2,438	3,125	2,745	2,813	3,369	3,076	2,782	2,489	2,196	1,774	1,353
(4)コミュニティプラント	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.水洗化・生活雑排水未処理人口(単独浄化槽人口)	人	4,272	3,869	3,000	3,158	3,013	2,712	2,410	2,109	1,808	1,507	1,205	904
4.非水洗化人口	人	1,171	1,100	959	929	651	586	521	456	391	326	260	195
5.自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水の適正処理率	%	88.5%	89.5%	91.7%	91.4%	92.3%	93.2%	93.9%	94.7%	95.4%	96.2%	97.0%	97.7%
公共下水道人口の割合	%	83.1%	84.4%	85.1%	85.6%	86.3%	86.2%	87.6%	88.9%	90.3%	91.7%	93.3%	94.9%
合併処理浄化槽人口の割合	%	5.5%	5.1%	6.6%	5.8%	5.9%	7.0%	6.4%	5.8%	5.2%	4.5%	3.7%	2.8%
汚水未処理人口	人	5,443	4,969	3,959	4,087	3,664	3,298	2,931	2,565	2,198	1,832	1,466	1,099
汚水未処理人口割合	%	11.5%	10.5%	8.3%	8.6%	7.7%	6.8%	6.1%	5.3%	4.6%	3.8%	3.0%	2.3%

(5) 生活排水関連図

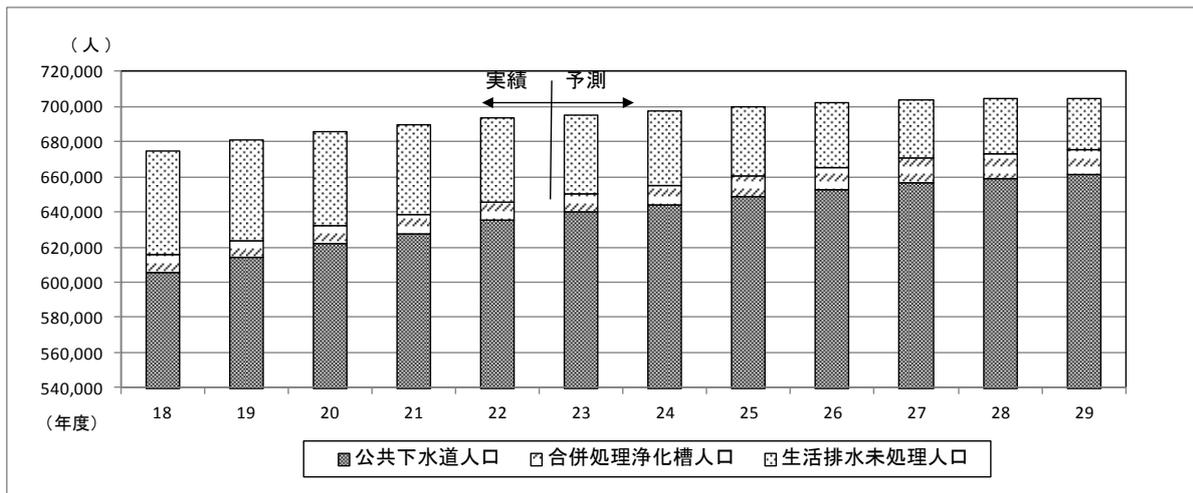


図7 生活排水処理人口の予測

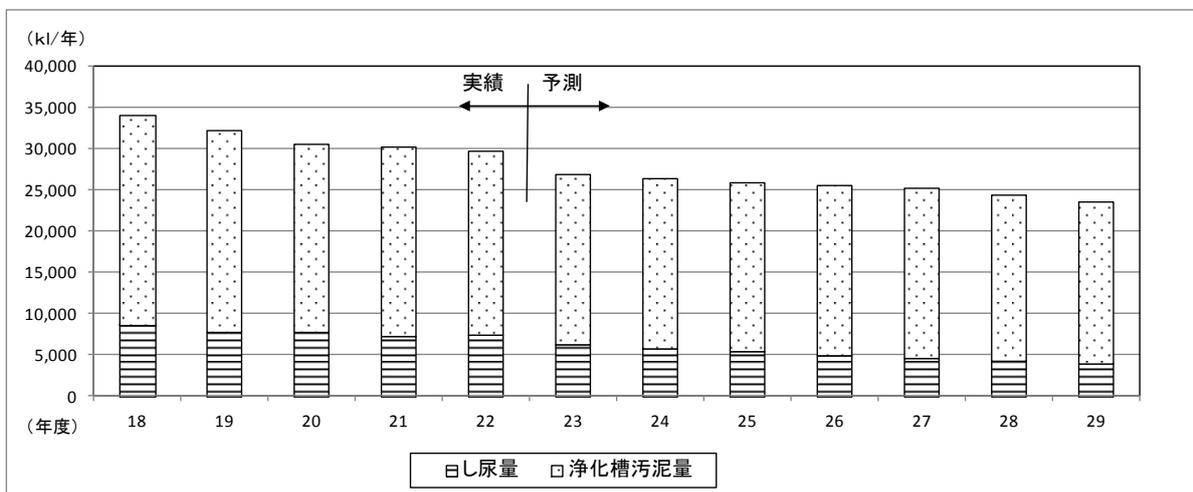


図8 汚泥及びし尿量の予測

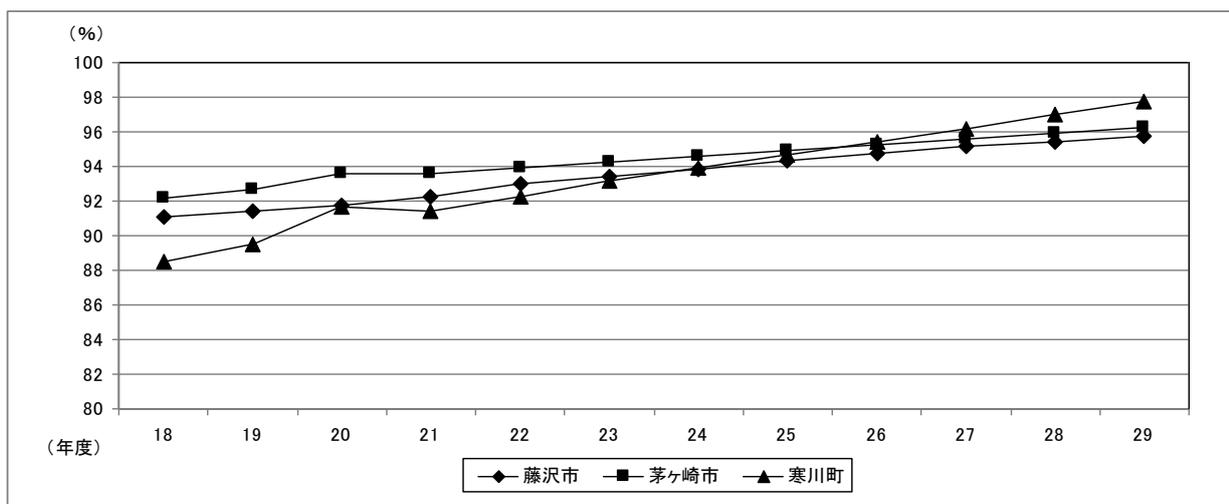


図9 生活排水処理率の予測

別添資料-4 浄化槽整備計画（様式1 関連資料）

湘南東地域

平成22年度までの累計 1,205基

人槽		24	25	26	27	28	5年間	人数
5	基	61	61	61	61	61	305	822
6~7	基	35	35	35	35	35	175	555
8~10	基	9	9	9	9	9	45	186
11~20	基	0	0	0	0	0	0	0
21~30	基	0	0	0	0	0	0	0
31~50	基	0	0	0	0	0	0	0
合計	基	105	105	105	105	105	525	1,563

藤沢市

平成22年度までの累計 382基

人槽		24	25	26	27	28	5年間	人数
5	基	33	33	33	33	33	165	396
6~7	基	10	10	10	10	10	50	175
8~10	基	5	5	5	5	5	25	125
11~20	基	0	0	0	0	0	0	0
21~30	基	0	0	0	0	0	0	0
31~50	基	0	0	0	0	0	0	0
合計	基	48	48	48	48	48	240	696

茅ヶ崎市

平成22年度までの累計 823基

人槽		24	25	26	27	28	5年間	人数
5	基	28	28	28	28	28	140	426
6~7	基	25	25	25	25	25	125	380
8~10	基	4	4	4	4	4	20	61
11~20	基	0	0	0	0	0	0	0
21~30	基	0	0	0	0	0	0	0
31~50	基	0	0	0	0	0	0	0
合計	基	57	57	57	57	57	285	867

項目		藤沢市								新規補助費	転換補助費
		新規(5年間)		転換(5年間)		5年間合計		年間			
		基数	交付額	基数	交付額	基数	交付額	基数	交付額		
5	基	145	32,480,000	20	6,640,000	165	39,120,000	33	7,824,000	224,000	332,000
6~7	基	40	11,160,000	10	4,140,000	50	15,300,000	10	3,060,000	279,000	414,000
8~10	基	25	9,225,000	0	0	25	9,225,000	5	1,845,000	369,000	548,000
11~20	基										
21~30	基										
31~50	基										
合計	基	210	52,865,000	30	10,780,000	240	63,645,000	48	12,729,000		

項目		茅ヶ崎市								新規補助費	転換補助費
		新規		転換		5年間合計		年間			
		基数	交付額	基数	交付額	基数	交付額	基数	交付額		
5	基	115	19,090,000	25	8,300,000	140	27,390,000	28	5,478,000	166,000	332,000
6~7	基	90	18,630,000	35	14,490,000	125	33,120,000	25	6,624,000	207,000	414,000
8~10	基	10	2,740,000	10	5,480,000	20	8,220,000	4	1,644,000	274,000	548,000
11~20	基										
21~30	基										
31~50	基										
合計	基	215	40,460,000	70	28,270,000	285	68,730,000	57	13,746,000		



別添資料-6 現有処理施設の概要（様式1 関連資料）

(1) 湘南東地域施設整備状況

① 湘南東地域施設構成図（ごみ関連 平成23年度現在）（箇所）

項目	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	湘南東ブロック
収集車両基地	2	1	0	3
ごみ焼却施設	2	1	0	3
粗大ごみ処理施設	1	1	0	2
リサイクルプラザ	0	0	0	0
資源化施設	1	1	1	3
最終処分場	1	1	0	2
余熱利用施設	1	1	0	2
計	8	6	1	15

注) 粗大ごみは、2市1町においては大型ごみと称しています。

② 湘南東地域施設構成図（し尿関連 平成23年度現在）（箇所）

項目	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	湘南東ブロック
し尿処理施設	1	0	1	2

(2) ごみ焼却施設

① 藤沢市

名称	石名坂環境事業所	北部環境事業所
所在地	藤沢市本藤沢2丁目1番1号	藤沢市石川2168番地
用地総面積	19,409.85 m <sup>2</sup>	14,913 m <sup>2</sup>
建設年月日	着工 昭和56年9月 竣工 昭和59年3月	1号炉 着工 昭和45年8月 竣工 昭和47年5月
	ダイオキシン類及び老朽化対策工事（改修） 着工 平成9年9月 竣工 平成12年3月	2号炉 着工 昭和48年9月 竣工 昭和49年10月
		1号炉改修 着工 昭和61年9月 竣工 昭和62年10月
		2号炉改修 着工 平成2年1月 竣工 平成3年2月
		2号炉改修 着工 平成14年6月 竣工 平成16年3月
1号炉更新 着工 平成16年9月 竣工 平成19年3月		
炉型式	全連続燃焼式旋回流型流動床焼却炉（T I F型）	全連続燃焼式ストーカ焼却炉
定格能力	390 t / 24 h （130 t / 24 h × 3 基）	150 t / 24 h × 2 基
集じん設備	ろ過式集じん機 能力 39,000 N m <sup>3</sup> / H × 3 基	ろ過式集塵機 1号炉 35,800 N m <sup>3</sup> / h 2号炉 74,800 N m <sup>3</sup> / h
H C 1 除去設備	消石灰吹込みによる煙道内反応除去方式 3 基	消石灰吹込みによる煙道内反応除去方式 2 基
N O x 除去設備	アンモニア水による無触媒脱硝方式 3 基	1号炉 アンモニア吹込による触媒脱硝方式 2号炉 尿素吹込による無触媒脱硝方式

②茅ヶ崎市

名 称	環境事業センター(ごみ焼却施設)
所在地	茅ヶ崎市萩園 836 番地
用地総面積	18,978 m <sup>2</sup>
建設年月日	着工 平成 3 年 11 月 竣工 平成 7 年 9 月
炉型式	全連続燃焼式ストーカ炉
定格能力	360 t / 24h (120 t / 24h × 3 基)
集じん設備	バグフィルタ
HC 1 除去設備	乾式消石灰吹込
NO <sub>x</sub> 除去設備	触媒脱硝

(2)資源化施設

(1) 藤沢市

名 称	空き缶選別施設	ビン選別施設
所在地	藤沢市桐原町 23 番地の 1	
建設年月日	平成 4 年 4 月竣工	平成 5 年 2 月竣工
処理方法	磁選機及びアルミ選別機によりスチール缶とアルミ缶を選別しそれぞれをプレス	手選別により生きビンを取り出し後、色分別 (4 色) し、カレット化
処理能力	12 t / 日	16 t ~ 18 t / 日 (手選別のため、人数等により増減あり)
備 考	スチール缶選別機 スチール缶プレス機 アルミ缶選別機 アルミ缶プレス機	カレット貯留ヤード
	ペットボトル圧縮梱包施設	容器洗浄施設
建設年月日	平成 11 年 3 月竣工	平成 6 年 4 月竣工
処理方法	手選別により異物を除去後、圧縮梱包機により圧縮し、PP バンドで梱包	蒸気により資源回収容器の洗浄を行うと共に、洗浄後容器の積み重ねを自動で行う
処理能力	4.1 t / 日	700 個 / h
備 考	ストックヤード 圧縮梱包機	—

②茅ヶ崎市

名 称	資源物選別処理施設
所在地	茅ヶ崎市茅ヶ崎 3 丁目 4 番 7 号
建設年月日	平成 5 年 2 月竣工
処理能力	18.07 t / 日

③寒川町

名 称	資源ごみ処理施設
所在地	寒川町宮山 2524
建設年月日	昭和 59 年 3 月竣工
処理能力	5 t / 日 (5 h)

(3)大型ごみ・不燃ごみ破碎処理施設

①藤沢市

名 称	桐原環境事業所	
所在地	藤沢市桐原町 23 番地の 3	
用地総面積	3,303 m <sup>2</sup>	
建設年月日	着工 昭和 53 年 6 月	竣工 昭和 54 年 3 月
	着工 昭和 62 年 2 月	竣工 平成元年 2 月
	着工 昭和 63 年 2 月	竣工 平成 2 年 2 月
処理能力	90 t / 6h 1 基	

②茅ヶ崎市

名 称	環境事業センター（粗大ごみ処理施設）
所在地	茅ヶ崎市萩園 836 番地
用地総面積	18,978 m <sup>2</sup>
建設年月日	着工 昭和 51 年 9 月 竣工 昭和 52 年 8 月
処理能力	50 t / 5 h 1 基

(4) 収集車両基地

区 分	藤 沢 市		茅 ヶ 崎 市
	環境事業センター	北部収集事務所	環境事業センター
所在地	藤沢市稲荷 417	藤沢市遠藤 2,023 番地の 17	茅ヶ崎市萩園 1085
敷地面積	3,676.28 m <sup>2</sup>	5,275.85 m <sup>2</sup>	1,896.68 m <sup>2</sup>
建設年月日	着工 平成 10 年 5 月 竣工 平成 11 年 2 月	着工 昭和 54 年 9 月 竣工 昭和 55 年 3 月	着工 平成 2 年 6 月 竣工 平成 3 年 3 月
保有車両	ロードパッカー車(2t)26 台、軽自動車 5 台、軽トラック 6 台、ダンプカー(2t)2 台、平ボディトラック(1t)1 台(予備車 ロードパッカー車(2t)5 台)	ロードパッカー車(2t)23 台、軽自動車 2 台、軽トラック 11 台、平ボディトラック(2t)1 台、連絡車 1 台(予備車 ロードパッカー車(2t)4 台)	<u>業務担当</u> ロードパッカー車(2t)47 台、2 トンダンプ 8 台、軽四輪自動車 2 台、軽トラック 2 台、マイクロバス 1 台 <u>管理担当</u> 4 トンダンプ 2 台、バキュームカー 1 台、ショベルローダ 2 台、ペンチャー 1 台、フォークリフト 1 台、フックロール車 2 台、軽四輪自動車 1 台、軽トラック 1 台、ロードパッカー車(2t)2 台
主な施設	洗車施設	洗車施設	洗車施設

(5) 最終処分施設概要

名 称		女坂最終処分場	茅ヶ崎市堤十二天一般廃棄物最終処分場
所 在 地		藤沢市用田 150 番地	茅ヶ崎市堤 1300 番地外
用地総面積		27,200 m <sup>2</sup>	
埋立地面積		17,700 m <sup>2</sup>	16,850 m <sup>2</sup>
建設年月日		着工平成 6 年 9 月 竣工平成 9 年 3 月	着工平成 13 年 11 月 竣工平成 16 年 3 月
総 容 量		200,000 m <sup>3</sup>	186,000 m <sup>3</sup>
埋立対象物		焼却灰、不燃物	焼却灰
しゃ水方法		全面ゴムシート張 (2 重)	表面二重しゃ水シート構造
浸 出 水 処 理	方 式	凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭	凝集沈殿＋砂ろ過＋微量有害物質除去
	能 力	70 m <sup>3</sup> /日	50 m <sup>3</sup> /日
	排出先	下水放流	下水道放流

## (6) 余熱利用状況

## ① 藤沢市

名 称	石名坂温水プール
所 在 地	藤沢市本藤沢 1 丁目 10 番 1 号
用地総面積	6,972.28 m <sup>2</sup>
建設年月日	着工 昭和 60 年 9 月 竣工 昭和 61 年 10 月
施設内容	プール室 25m プール 6 コース 幼児用プール (スライダー付) 多目的ホール・和室・会議室・浴室

## ② 茅ヶ崎市

名 称	茅ヶ崎市室内温水プール
所 在 地	茅ヶ崎市萩園 820 番地
用地総面積	4,622.04 m <sup>2</sup>
建設年月日	着工 昭和 55 年 7 月 竣工 昭和 56 年 3 月
施設内容	大人用プール 25m5 コース 子供用プール 8m

## (6) し尿処理施設

## ① 藤沢市し尿処理施設

施 設 名 称	藤沢市し尿処理施設
設 置 者	藤沢市
所 在 地	神奈川県藤沢市石川 2168
計 画 処 理 能 力	230KL/日 (し尿+浄化槽汚泥)
処 理 方 式	ばっ気処理+遠心脱水処理+凝集沈殿処理 臭気処理：高濃度系 ばっ気槽吹込み 中濃度系 乾式脱臭装置
施 工 年 度	昭和 36 年 6 月竣工 (平成 6 年 3 月第 4 期竣工)
放 流 先	藤沢市大清水浄化センター
面 積	北部ごみ焼却施設内

## ② 寒川町美化センター

施 設 名 称	寒川町美化センター
設 置 者	寒川町、茅ヶ崎市
所 在 地	神奈川県高座郡寒川町田端 1578-3
計 画 処 理 能 力	70KL/日 (し尿 21KL/日、浄化槽汚泥 49KL/日)
処 理 方 式	主処理：高負荷脱窒素処理方式 汚泥処理：貯留→脱水 (ベルトプレス) 臭気処理：高中濃度臭気 酸・アルカリ洗浄処理 低濃度臭気 活性炭吸着
施 工 年 度	平成 7 年 1 2 月
放 流 先	下水道
面 積	敷地面積 8,264.48 m <sup>2</sup> 建物面積 1,007.22 m <sup>2</sup>

別添資料-7 基金制度の概要（地域計画 施策関連資料）

①藤沢市環境基金制度

- (ア) 制定年月日 平成4年10月1日（平成19年4月に「ごみ減量基金」から名称変更）
- (イ) 目的 ①ごみの減量、資源化の促進  
②良好な生活環境の確保
- (ウ) 積立財源 ①寄付金  
②市の資金  
\*指定収集袋による排出に係る廃棄物処理手数料の額を勘案して予算で定められた額を基金に積み立て  
③基金の運用から生ずる収益金
- (エ) 処分 ①ごみの減量及び資源化に関する事業  
②ごみの減量化及び資源化に関する市民活動  
③ごみ処理施設の整備及びその他のごみの適正処理に関する事業  
④良好な自然環境の保全、エネルギーの効率的利用の促進、その他の地球環境の創造に資する事業
- (オ) 環境基金積立額

(単位：円)

財源内訳 \ 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
市一般財源	0	536,400,000	668,400,000	602,500,000	593,100,000
寄付金	18,270	232,000	323,800	1,027,800	1,397,500
基金運用益	168,801	257,124	1,014,043	1,855,609	1,721,834
計	187,071	536,889,124	669,737,843	605,383,409	596,219,334
繰出金	△92,671,403	388,971,929	394,869,215	389,763,144	395,250,747
積立累計	45,023,453	192,940,648	467,809,276	683,429,541	884,398,128

②茅ヶ崎市ごみ減量化・資源化基金条例

- (ア) 制定年月日 平成5年4月1日
- (イ) 目的 ①ごみの減量及び資源化の促進  
②良好な生活環境の確保
- (ウ) 積立財源 ①予算で定める積立金  
②基金の趣旨に沿う寄付金  
③基金の運用から生ずる収益金
- (エ) 処分 ①ごみの減量化及び資源化に関する事業  
②ごみの減量及び資源化に関する市民活動
- (オ) ごみ減量化・資源化基金積立額

(単位：円)

財源内訳 \ 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
市一般財源	0	0	0	0	0
有価物売却益	53,936,069	70,405,341	91,003,364	46,247,468	88,792,541
寄付金	79,977	80,085	77,258	196,249	70,632
基金運用益	358,694	2,564,702	3,504,991	4,081,535	3,221,869
計	54,374,740	73,050,128	94,585,613	50,525,252	92,085,042
繰出金	0	0	0	0	59,327,000
積立累計	369,242,806	442,292,934	536,878,547	587,403,799	620,161,841

## 別添資料-8 ごみ処理広域化の取組み

藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町の2市1町は、神奈川県「神奈川県ごみ処理広域化計画」（平成10年3月）において「湘南東ブロック」として位置づけられた。

これを受け、当該地区におけるごみ処理の広域化の可能性について調査・検討する機関として、「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」が発足（平成10年6月）し、広域化に向けた取組みを開始、平成14年度～15年度の基礎調査の結果、リサイクル施設を広域施設として位置づけた方が効率的との結論を得て、広域化に向けた取組みを開始した。現在、第1次地域計画に基づき施設整備が進行している。取組みの状況は表-1に示すとおりである。

表-1 ごみ処理広域化の取組み

年度	取組みの内容
平成14～15年度	<p>「湘南東ブロックごみ処理広域化基礎調査」により広域化の基本方針、対象事業範囲、計画目標年次を示し、施設整備をする場合の施設規模、相互融通により規模が縮小できる施設の可能性等を検討した。</p> <p>目標は3期に分け、平成19年度（短期目標年）までをソフト面の統一強化期間、平成29年度（中期目標年）までをハード面及び事業経営面の統一強化期間、平成42年度（長期目標年、最終目標年）には湘南東地域での循環型社会の完成を目指すものとした。</p> <p>た。</p> <p>基本姿勢は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理の広域化を推進するため、処理施設の老朽化を考慮して長期的な展望のもとに、リサイクルプラザ、粗大ごみ処理施設、焼却施設及び最終処分場等の施設規模や配置についての基本方針案を検討する。</li> <li>・過渡期対策の基本方針案を定めるとともに、広域処理施設を設置する自治体と設置しない自治体との役割分担等について配慮事項を検討する。</li> <li>・広域処理において新しく施設整備をする場合、既存施設用地の活用と最新技術の導入を検討する。</li> </ul>
平成16年度	<p>湘南東ブロックの住民が、ごみ処理やリサイクル、広域化等に対してどのような意見を持っているかを確認するため、「ごみ処理とリサイクルに関するアンケート調査」を地域内に住民登録している2,500世帯に対して実施した。</p> <p>結果は、広域化に対する肯定回答が、全体の約7割（71.7%）を占め、地域が、計画に沿ったごみ処理システムを構築していくために重要となる合意形成が得られたと判断できた。</p>
平成17～18年度	<p>リサイクルセンターの施設整備に関する検討を中心に「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画策定に伴う資源循環型施設基本構想」に関する作業を実施。</p> <p>平成18年3月に神奈川県湘南東地域循環型社会形成推進地域計画を提出。</p>

平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画の策定</li> <li>・ (仮称) 藤沢市リサイクルセンター施設整備に関する基本設計、事業方式の検討、生活環境影響調査、測量・地質調査を実施。</li> </ul>
平成 20 年度	<p><u>藤沢市</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称) 藤沢市リサイクルセンター施設整備基本設計を実施。</li> </ul> <p>平成 19 年度に続き (仮称) 藤沢市リサイクルセンター建設に伴う生活環境影響調査を実施。</p> <p><u>茅ヶ崎市・寒川町</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 茅ヶ崎市・寒川町で整備するリサイクルセンターの整備内容を定めた「(仮称) 広域リサイクルセンター基本計画書」を策定。</li> <li>・ (仮称) 広域リサイクルセンター用地測定、地質調査実施</li> </ul>
平成 21 年度	<p><u>藤沢市</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称) 藤沢市リサイクルセンター整備・運営事業に係るアドバイザー業務を 21～22 年度事業として委託。</li> <li>・ (仮称) 藤沢市リサイクルセンター整備・運営事業審査委員会を設置。</li> </ul> <p><u>茅ヶ崎市・寒川町</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寒川町に (仮称) 広域リサイクルセンター整備に係る事業の推進および課題等について検討する組織である (仮称) 広域リサイクルセンター整備推進委員会を設置。</li> <li>・ (仮称) 広域リサイクルセンター発注仕様書作成、生活環境影響調査</li> </ul>
平成 22 年度	<p><u>藤沢市</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤沢市有機質資源再生センターへ寒川町の剪定枝を受入。</li> <li>・ (仮称) 藤沢市リサイクルセンター整備・運営事業審査委員会による優先事業者を選定し、建設工事請負契約を締結後建設工事着工。</li> </ul> <p><u>茅ヶ崎市・寒川町</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称) 広域リサイクルセンター建設工事着工</li> </ul>

注) 平成 22 年度までは茅ヶ崎・寒川地域の広域リサイクルセンターの名称は (仮称) を記載

別添資料-9 湘南東地域施設整備スケジュール(第2次修正)

構成市町	施設整備場所	西暦 平成 年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022		
			15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
		施設名称	計画期間等					H17-19 計画作成期間					H24 短期目標年度					H29 中期目標年度					H34 長期目標年度	
構成市町	北部環境事業所	焼却施設(新1号炉) H19.3竣工 (150t/24h) 年間45,000t処理																						
		新設工事H16-H18 (国庫補助事業-DBO方式)																						
		北部2号炉 S49.10竣工 H25.3.31廃止 (150t/24h)																						
	石名板環境事業所	北部2号炉 エネルギー回収型廃棄物処理施設 2号炉の増設(150t/24h)																						
		焼却処理施設S59.3竣工(130t/24h×3炉) 1号炉 平成19.3 運転停止 2号炉 平成33.3 運転停止 3号炉 平成38.3 運転停止 エネルギー回収推進施設 石名板環境事業所の更新 (120t/24h×1炉)																						
		前処理(粗大ごみ処理)施設 S59.3竣工(25t/5h) 石名板環境事業所の更新																						
	桐原環境事業所	粗大ごみ処理施設 S54.3竣工 (50t/5h→90t/6h(H18から))																						
		資源化施設 びん H5.2竣工(16~18t/5h) かん H4.4竣工(12t/5h) ペットボトル H11.3竣工(4.1t/5h)																						
		(仮称)藤沢リサイクルセンター (粗大ごみ処理施設含む) 132t/5h																						
	女坂最終処分場	H9.3竣工 (200,000m3)																						
し尿処理施設	S.36.6(230KL)																							
茅ヶ崎市	環境事業センター	焼却処理施設 H7.9竣工 (120t/24h×3炉)																						
		(仮称)茅ヶ崎・寒川バイオガス化施設																						
		粗大ごみ処理施設 S52.8竣工 (50t/5h)																						
	(仮称)茅ヶ崎・寒川粗大ごみ 処理施設 (28t/日)																							
	資源物選別施設	資源化施設 H5.2 (18.07t/5h)																						
堤十二天一般 廃棄物最終処分場	H16.3竣工 186,000m3																							
寒川町	クリーンセンター	資源化施設 S59.3 (5t/5h)																						
		寒川広域リサイクル センター																						
	し尿処理施設	寒川町美化センター H.7.11竣工(70KL/日)																						
湘南東ブロック		(循環型社会形成推進地域計画)																						
		注記1 藤沢市	藤沢市の最終処分場残余容量はH21年度末114,078m3																					
		注記2 茅ヶ崎市	茅ヶ崎市の最終処分場残余容量はH21年度末145,960m3																					
		注記3 寒川町	寒川町は自己の最終処分場を有していないため埋立物を外部委託処理する。																					

凡例  
     : 施設名称  
     : 広域化実施計画期間中の整備計画施設  
     : 交付金対象支援事業期間  
     : 施設稼働期間  
     : 循環型社会形成推進地域計画策定・提出年度  
     : 交付金対象施設整備期間  
     : 循環型社会形成推進交付金対象事業期間  
     : 平成16年度までの国庫補助事業期間  
     : 単独改修工事期間